

会長のページ 医師の品位	河野 雅行	3
日州医談 産業医に関するトピックス		
産業医ではない先生方にも関連した話題	吉見 雅博	4
「医師の働き方改革」が始まります	池井 義彦	6
新春随想 (その2)		8
林 透, 上田 集久, 鶴 紀子, 遠藤 豊, 獅子目賢一郎		
秋月 英治, 岩永 巖, 山田 学, 大森 史彦, 宮永 省三		
特 集 宮崎大学医学部・旧宮崎医科大学開講50周年記念事業		
第2回 50周年に寄せて	丸山 眞杉	20
エコー・リレー (582)	福嶋秀一郎, 河野 清秀	23
メディアの目 新成人へ熱いメッセージ	中川 美香	24
身近なお困りごと相談室	高山 桂	25
私 の 本 イラストで学ぶ病気の基礎3	大塚 伸昭	26
ニューメンバー	河野 鉄, 野村 信介	39
診療メモ 梅毒患者数の増加とその対応について	菊池 英維	64
宮大医学部学生のページ		
延岡のお医者さんがかっこいい大人だらけだった話	吉田 日和	66

表彰・祝賀	18
あなたできますか? (令和4年度医師国家試験問題より)	22
宮崎県感染症発生動向	28
各郡市医師会だより	30
九州各県医師会学校保健担当理事者会	32
九州医師会連合会第412回常任委員会	34
日医インターネットニュースから	36
医師国保組合だより	38
会員の異動・変更報告	40
理事会日誌	42
ベストセラー	45
県医の動き	46
ドクターバンク情報	47
行事予定	53
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	55
あ と が き	76

お知らせ カット・イラストの募集	17
医師の求人・求職は日本医師会女性医師バンクをご利用ください!	27
医療事故調査制度相談窓口	35
女性医師の皆様へ (マタニティ白衣無料貸出)	41
日州医事へのご意見・ご感想	51
郡市医師会への送付文書	68
医療勤務環境改善支援センター	72
医師年金ご加入のおすすめ	74
日州医事原稿募集のお知らせ	75

医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年3月12日制定)

〔表紙作品：写真〕

寒暮（アオサギ）

日南海岸には魅力的な岩がたくさんあります。岩に当たって砕ける波を遅いシャッタースピードで撮るのが好きです。野鳥は逆に速いシャッタースピードで撮らないとぶれてしまいます。岩の上にアオサギがいました。じっとしているように見えるアオサギも遅いシャッタースピードでは微妙に動いてぶれてしまいました。数十枚撮って、なんとかぶれていないもの、波の形がよいものを選んだ一枚でした。

国富町 原 政 樹

会長のページ

医師の品位

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

厚労省には、医療関係者（国家資格）の絡んだ事件に対して行政処分を審議する医道審議会があり、毎年、医師・歯科医師や医療関係者が処分を受けています。医道審議会の処分例を見ると法律違反の他に「医師の品位と適格性」との文言が出てきます。その程度が著しく劣れば処分（戒告～医業停止～免許取消）も重くなるようです。日本医師会の「医師の職業倫理指針」には、人間性の修養と品位の保持に努めることは、個々の医師にとっての責務でもあると書かれていますが、それでは「医師の品位」とは何でしょうか。

この「品位」のように医療現場では表面上は理解されたつもりで当然のように使われている用語があります。

医師は患者さんに「ていねい」に説明する義務（説明責任）がありますが、何分間説明すれば充分と言えるのでしょうか。丁寧に説明したつもりでも、相手が不満を感じれば丁寧さは成立しません。詳しく説明しようとすれば「そんなことはインターネットで知っている」と傾聴しない患者さんもいるし、しっかり説明したつもりでも「素人だから理解できなかった」と後で家族が入り替わりに説明を求める患者さんもいます。しかも内容をカルテに記録しなければ説明したことになりません。海外の犯罪ドラマでは、警察官が容疑者を逮捕する際に「黙秘する権利がある。弁護士を呼ぶ権利がある。…」と告げています。しかし、あのような環境下では容疑者が理解できたとは思えません。あれは説明ではなく告知であるとのことですが、日本でも同じなのでしょうか。医療現場において患者さんへの説明は告知では済みません。

「せいかく」も頻繁に使われます。医療自体が不確実なもので不正確な要素が多いのに、部分的な正確さを根拠にして全体の正確さを求めるのは無理です。ある診断がついても、その治療方法や経過については個体差やさまざまな因子も関与して、治療期間や予後も違ってきます。そもそも診断基準による限られた診断名のみでは部分的な正確さでしかありません。画像やデータは正確でも全体を述べているわけではありません。いまだ表れていない疾患などまでは正確に説明することはできません。それでも後日、見落として非難される場合もあります。

上記以外にも意味は理解できても実施できているかは疑問な用語が多くあります。

医師には、人の生命と健康を守るため当然のことながら常に高い倫理観と道徳感が求められています。しかし、抽象的な表現に対して行政処分が科されるとなれば問題があるような気がしません。第一、この文章自体が「ていねい」「せいかく」で「品位」があるとはとても思えません。そのようなことに巻き込まれることがないよう日本医師会の「医の倫理綱領」・「綱領」・「医師の職業倫理指針」、宮崎県医師会の「医師の心得」を今一度確認し、日頃から心がけていく必要があります。

（令和6年1月17日）

日州医談



産業医に関するトピックス 産業医ではない先生方にも関連した話題

宮崎県医師会 常任理事 よし み まさ ひろ
吉 見 雅 博

はじめに、我々医療を取り巻く環境は日々変化しておりますが、すべての労働者における安全衛生を取り巻く現状も大きく変化しています。団塊の世代が75歳以上の後期高齢者になる2025年以降、ますます労働者の高齢化が進みます。

雇用者全年齢のうち60歳以上の占める割合は、平成13年は10%程度でしたが右肩上がりに増加し、令和3年は18.2%になっています。休業4日以上死傷者のうち60歳以上の高齢者の占める割合は令和3年で25.7%でした。

そんな中、厚生労働省は化学物質による労働災害防止のための新たな規制について、令和4年5月に公布された法改正により、令和5年4月および令和6年4月から新たな化学物質規制に基づいた各種の義務がスタートします。

今回の法改正は何十年に1回の大規模な改正と言われており、また改正内容も非常に複雑であるため、産業医研修会においてこの法改正に関する研修を受講された先生方も多いと思いますが、混乱されている産業医の先生方・事業場も多いのではないかと思います。

特に、重要な点の一つがリスクアセスメント対象物を製造、取扱い、または譲渡提供をする事業場は化学物質管理者の選任が義務化される点です。そのため、製造業や建築業だけでなく、清掃業や卸・小売業、宿泊業、飲食店、医療・福祉業などのサービス業も幅広く対象になり得る、ということです。

これは産業医以外の先生方にも関連してきます。例えば病理検査提出のためのホルマリン（ホルムアルデヒド）はリスクアセスメント対象物になっています。大病院で病理部門を持っ

ているところはすでに対応されていると思いますが、そうでない医療機関は対応が必要になります。またホルマリン以外にも取り扱っている化学物質がリスクアセスメント対象物になっていないかどうか確認が必要で、清掃業を外注されている医療機関は、そこで取り扱う洗剤の内容確認が必要になると思います。

ホルマリンに関しては宮崎産業保健総合支援センターに確認し、以下のような回答をいただきました。

ホルムアルデヒドはリスクアセスメント対象物に該当しますので、今後（4月1日以降）、「化学物質管理者」の選任が必要になります。

また「化学物質管理者」の選任要件につきましては、専門的講習の受講までは義務となっていませんが、今後、病院内で中心となって化学物質の管理を行う立場の担当者になるので、化学物質管理に必要な知識が十分ある方を選任するか、そのような人がいない場合は外部の講習機関が実施する専門的講習の受講について検討していただいた方がいいのではないかと思います。

今回の変更点は厚生労働省のホームページ、「ホーム>報道・広報>報道発表資料>2022年5月>化学物質による労働災害防止のための新たな規制について」から確認することができます。

また個々の管理に関する疑問・質問などは宮崎産業保健総合支援センターが受け付けていますのでご利用いただき確認されてください。電話・メールで対応されています。

相談、支援の申込みや問い合わせについては、宮崎産業保健総合支援センターまで。

電話：(0985) 62-2511

メール：miyasanpo@miyazakis.johas.go.

* 以下表を添付

次に、近年転倒災害や腰痛災害など、労働者の作業行動に起因する労働災害（いわゆる「行動災害」）が増加傾向にあります。その要因として労働者の高齢化などによる身体機能の低下などが指摘されているところです。

これに関しては2023年4月から始まった第14次労働災害防止計画の概要の重点2に示されているように、労働者の高齢化による影響が大きくなってきています。当院でもいわゆるベテランのスタッフにありがたいことに長期にわたり勤務していただいておりますが、歳を重ねていくにつれてリスクとなる転倒およびそれにとともなう腰痛や骨折、そして長期休業は避けたいところです。

この転倒予防策として転倒しにくい環境づく

りも大事ですが、個々のスタッフの転倒や怪我のしやすさへの対応への取組みも重要です。第14次労働災害防止計画では運動プログラムの導入や骨粗鬆症検診の受診勧奨を挙げています。

職場の転倒災害防止、腰痛予防対策などに関しても宮崎産業保健総合支援センターでは個別訪問支援を行っています。産業医の先生方はもちろん、産業医ではない先生方のスタッフに対する取組みとしてご希望があれば相談してみたいかがでしょうか？

その他の第14次労働災害防止計画の概要につきましては厚生労働省のホームページ、「ホーム>政策について>分野別の政策一覧>雇用・労働>労働基準>安全・衛生>労働災害防止計画について」をご参考ください。

2-1 化学物質管理者の選任の義務化

(1) 選任が必要な事業場

2024(R6).4.1施行

リスクアセスメント対象物を製造、取扱い、または譲渡提供をする事業場（業種・規模要件なし）

- ・ 個別の作業現場毎ではなく、工場、店社、営業所等事業場ごとに化学物質管理者を選任します。
- ・ 一般消費者の生活の用に供される製品のみを取り扱う事業場は、対象外です。
- ・ 事業場の状況に応じ、複数名の選任も可能です。

(2) 選任要件

化学物質の管理に関わる業務を適切に実施できる能力を有する者

リスクアセスメント対象物の製造事業場	専門的講習※の修了者
リスクアセスメント対象物の製造事業場以外の事業場	資格要件なし (専門的講習等の受講を推奨)

※ 専門的講習のカリキュラムは、右図の内容を厚生労働大臣告示で示す予定です。

	科目	時間
学科教育	化学物質災害の発生の原因	1時間
	化学物質の危険有害性	2時間
	関係法令	1時間
	化学物質の危険性または有害性の調査	3時間
	化学物質の危険性または有害性の調査の結果に基づく措置	2時間
実習	化学物質の危険性または有害性の調査とその結果に基づく措置	3時間

(3) 職務

- ・ ラベル・SDS等の確認
- ・ 化学物質に関わるリスクアセスメントの実施管理
- ・ リスクアセスメント結果に基づくばく露防止措置の選択、実施の管理
- ・ 化学物質の自律的な管理に関わる各種記録の作成・保存
- ・ 化学物質の自律的な管理に関わる労働者への周知、教育
- ・ ラベル・SDSの作成（リスクアセスメント対象物の製造事業場の場合）
- ・ リスクアセスメント対象物による労働災害が発生した場合の対応

日州医談



「医師の働き方改革」が始まります

宮崎県医師会 常任理事 いけ い よし ひこ
池 井 義 彦

労働基準法の改定により、時間外労働時間の上限規制が2019年4月から施行され、医療機関においても医師以外の医療従事者にはすでに適応されています。ただし、医師は業務の特殊性から5年間の猶予が設けられ、2024年4月より、医師の働き方改革が施行され、医師にも時間外規制が適応されるようになります。各医療機関において、宿日直許可の申請、労働時間の短縮に取り組んでおられると思います。

制度の内容などに関しては、下記の図を参照してください。

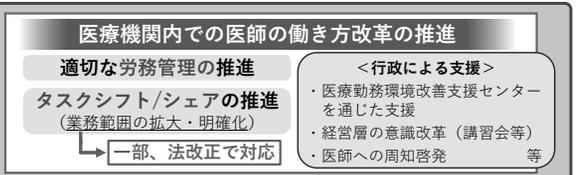
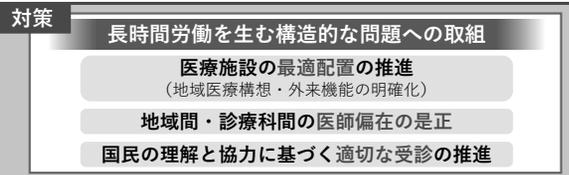
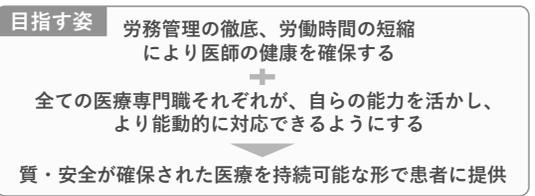
県医師会としては、医療勤務環境改善支援センターにおいて、医師の働き方改革に関する研修会、社会保険労務士、医業経営コンサルタントによる相談対応を行い、各医療機関への支援を行っております。また、宮崎労働局、県行政、宮崎大学、県医師会の意見交換を定期的に行い、制度移行に関する問題の整理・解決に努めております。

医療機関の勤務形態は複雑であり、診療科によってさまざまです。その中で勤務時間を管理するには多大な労力と時間が必要となります。時間外労働に関しても、医師本人の申告のみで

医師の働き方改革

- これまでの我が国の医療は医師の長時間労働により支えられており、今後、医療ニーズの変化や医療の高度化、少子化に伴う医療の担い手の減少が進む中で、医師個人に対する負担がさらに増加することが予想される。
- こうした中、医師が健康に働き続けることのできる環境を整備することは、医師本人にとってはもとより、患者・国民に対して提供される医療の質・安全を確保すると同時に、持続可能な医療提供体制を維持していく上で重要である。
- 地域医療提供体制の改革や、各職種専門性を活かして患者により質の高い医療を提供するタスクシフト/シェアの推進と併せて、医療機関における医師の働き方改革に取り組む必要がある。

現状	病院常勤勤務医の約4割が年960時間超、約1割が年1,860時間超の時間外・休日労働
【医師の長時間労働】	特に救急、産婦人科、外科や若手の医師は長時間の傾向が強い
【労務管理が不十分】	36協定が未締結や、客観的な時間管理が行われていない医療機関も存在
【業務が医師に集中】	患者への病状説明や血圧測定、記録作成なども医師が担当



時間外労働の上限規制と健康確保措置の適用 (2024.4~) 法改正で対応				
地域医療等の確保	医療機関に適用する水準	年の上限時間	面接指導	医師の健康確保
医療機関が医師の労働時間短縮計画の案を作成 評価センターが評価 都道府県知事が指定 医療機関が計画に基づく取組を実施	A (一般労働者と同程度)	960時間	義務	医師の健康確保 面接指導 健康状態を医師がチェック
	連携B (医師を派遣する病院)	1,860時間 ※2035年度末を目標に終了		義務
	B (救急医療等)	1,860時間	義務	
	C-1 (臨床・専門研修)			
	C-2 (高度技能の修得研修)			

客観的なデータがない場合、把握しにくくなっています。また、当直や宿直、呼び出し当番などの特殊な勤務体制によって労務管理はさらに複雑化しています。宿日直も勤務日の状況や勤務先によって実態が大きく異なります。ほとんど実働がない当直（いわゆる寝当直）もあれば、救命救急センターのように一晩中実働状態（いわゆる夜勤）の医師もいます。

また、医師の中には副業や兼業を行う者も多くいます。主たる勤務先は、派遣先における勤務も含めて、時間外労働や休日労働の上限、連続勤務時間制限、勤務間インターバルを厳守するシフトを組まなければなりません。医師の勤怠管理には、手書きの紙やエクセルによる管理から勤怠管理システムを活用してタイムレコーダーなどを利用して、客観的で正確な時刻記録を行い、労働状況をタイムリーに把握する仕組みを作ることが大切になります。

医師の働き方改革においては、医師の時間外労働時間を短縮するために、次の6つの取組みを各医療機関に求めています。

- (1) 医師の労働時間管理の適正化に向けた取組み
- (2) 36協定等の自己点検
- (3) 既存の産業保健の仕組みの活用
- (4) タスク・シフティング（業務の移管）の推進
- (5) 女性医師等に対する支援
- (6) 医療機関の状況に応じた医師の労働時間短縮に向けた取組み

「医師の労働時間管理の適正化に向けた取組み」は、医師の在院時間の客観的な把握のために、ICカードやタイムカードを導入して出退勤時間の記録を随時確認するなどの対策が必要です。36協定を締結しているかどうか、その内容は適切か確認が必要です。特に、業種や職種ごとに適切な定め方になっているかの確認が重要です。そして、内容として定められた限度時間を超える時間外労働はどのくらい起きているかの確認が必要です。また、36協定の適応となっている医師に対して36協定を周知することも重要です。

「タスク・シフティングの推進」は、医師の業務負担の軽減を図るため、多職種への業務の移管を推進するものです。「女性医師等に対する支援」では、出産、育児、介護などのライフ

イベントによってキャリア形成が阻害されないように、短時間勤務などの柔軟な働き方の推進が求められています。

時間外労働の上限規制を一律に設定すると大学病院をはじめとした一部の病院では医療サービスの維持ができなくなる可能性があります。そこで設けられたのが、「A・連携B・B・C水準」です。特例水準「連携B・B・C水準」の指定を受ける医療機関は、医療機関勤務環境評価センターによって労働時間実態や時短の取組み状況の第三者評価を受け、適切と判断されれば、都道府県による特例水準医療機関の指定を受けることになります。

詳細は厚生労働省のホームページを参照してください。

A水準以外の医療機関は、「連続勤務時間制限」「勤務間インターバル」「代償休息」を実施することが義務付けられています。「連続勤務時間制限」とは、その名のとおり連続で勤務できる上限のことで、「宿日直許可」を受けている場合を除き28時間までとなります。また、「勤務間インターバル」として24時間の中で日勤と次の勤務までに9時間の休息時間を確保することが求められています（当直もしくは当直明けの日を除く）。そして、連続勤務時間制限も勤務間インターバルも実施できなかった場合には、「代償休息」として対象となった労働時間について、時間休の取得もしくは勤務間インターバルの延長を実施する必要があります。

このような時間外労働の規制により、救急医療や産科などへの影響が懸念されております。宿日直許可を受けられない場合、夜勤となりその医師の翌日の診療が不可となります。医療機関によっては、夜間救急の制限や分娩への影響が考えられます。地域の医療機関同士での協議を行い、協力体制の構築が重要となってくると思います。また、県民への適切な情報提供を行い、コンビニ受診的な時間外受診の抑制などの広報も重要になると考えます。

ご存じのように、来年度からは、医療法に基づく立入検査の中に、医師の働き方改革関連の項目（面接指導、就業上の措置、勤務間インターバルなど）が新たに加わります。これらの取組みについても、勤改センターが支援します。ご不明の点がありましたら、相談してください。

新春随想

その2

新春随想を募集いたしましたところ、多数のご投稿をいただきありがとうございました。1, 2月号にわけて掲載させていただきます。

水晶の歌声と バンドゥーラの可憐な響き

宮崎市 さがら病院宮崎 ^{はやし}林 ^{とおる}透

タイトルは昨年末に行われたチャリティーコンサート for ウクライナの副題である。バンドゥーラ奏者・歌手のナターシャ・グジーのコンサート。6歳のときにチェルノブイリ原発事故で被爆、急遽“ふるさと”を離れざるを得なくなり避難生活で各地を転々とする中、同楽器に出会いその音色に魅了され音楽学校で学ぶ。民族音楽団のメンバーとして2度来日し、2000年より日本に移り住んで音楽活動をしている。

ウクライナの民族楽器バンドゥーラは60本ほどの弦をもつ撥弦楽器である。低音部は10本ほど、高音部は50本ほどであろうか。右手で多数の高音部を弾くように、左手で低音部を柔らかく一見押さえるように奏でていた。フレットはなく各弦は開放弦として使うのであろう。一見似たような形状の楽器にドイツ語圏の民族楽器チターがあるが、こちらは手前の弦5本だけにはフレットがありメロディーを奏でる。いずれもアラビアの打弦楽器サントゥールが起源とされている。これらの楽器の音色は可憐で民族音楽としての抒情、哀愁、そして悠久の歴史を感

じさせるものである。コンサートでは彼女の透きとおるような美しい歌声に寄り添うように優しく伴奏メロディーを響かせ、時には主旋律で曲のテーマを呼び戻してくれた。曲の間のトークでは美しいウクライナの景色、原発事故以来の被災者の苦勞、そしていまだに続くロシアの侵攻による人々の苦しみが織り込まれ、彼女のふるさと、ウクライナを想い続けてほしいというメッセージが胸にしみ込んでくる。この楽器は民族楽器として歴史的に吟遊詩人によって伝えられてきた。ロシアに支配されていた時期この楽器の使用も禁じられていたようで、スターリンの死後演奏、曲の復興がはかられたらしい。

最後の二曲は「わがキエフ」「鳥の歌」で、優しい歌声とともに哀愁からウクライナの賛歌、未来の希望へとつながり、アンコールでは会場の人とともに日本語で日本の唱歌“故郷（ふるさと）”を歌い上げた。



産めよ、増えよ、地に満ちよ

小林市 上田内科 ^{うえ} ^だ ^{ため} ^{ひさ}
上 田 集 久

その1 部活先輩との雑談中、なかなか子供が出来ないとの話が出た。夏休み帰省の折、地元の奇石「陰陽石」の観光絵葉書に、暑中見舞いの文言を記し、投函した。「暑中見舞い有難う！あの絵葉書を貰って、すぐ出来たばい…」と、休み明けに学内で逢った先輩の顔は明るかった。月満ちて生まれた子供の性別は知らないが、あの時の子も、すでに還暦を迎えている筈である。

その2 地元の若夫婦から、ログハウス風住宅を建てたからとお招きを受けた。出会いから趣味の話へと進み、話題はいつしか、子供のことへ。

二人が口を揃えて言うには、「1999年7月、アンゴルモアの大魔王が地球に降りて来る。子どもが可哀想だから、子供は…」と、ノストラダムスの予言の話であった。「そんな壮絶な日が来たら、私なら、家族全員で抱き合い、その時を迎える…」と、アルコールで滑らかになった舌で、持論を展開した。

その後、夫婦の間で如何なる会話が交わされたかを聞く機会もなかったが、生まれた男の子は、今や40歳を越え、音楽関係の仕事に就いていると聞く。

その3 精子減少症で子供ができないと嘆く、行きつけ居酒屋の大将。“ならば…”とプロパーが置いて行った「八味地黄丸」サンプルを持参した。出来た！生まれた！待望の子。そ

の子は今、税理士を目指して頑張っている。

その4 “妊活”に乗用車一台分は注ぎ込んだと嘆く30歳後半の女性。腹這いの背中に向けて、氣功師よろしく、揉み手で温めた手を翳した。暖かさが伝わって来るとの反応があり、間もなく自然懐妊。お転婆娘と母親は今も、帰省すると顔見せに来てくれる。

その5 乳癌が見つかった、と泣きじゃくる“妊活中”の女性。親にはまだ話していないとのこと。両親に緊急来院を願い、自分の口から“真実”を話すようにと仕向けた。“父さん、母さんも頑張り支えるから”との母親の力強い励ましに、涙は決意となり、お腹に返された受精卵は、女の子となってこの世に生を受け、今や中学生となった。

その時の受精卵が、今も医療機関に保存されていて、毎年今後の取り扱いについての問い合わせが来るらしい。“破棄”か“継続”かと心揺れる中、何がしかを支払い、毎回保管継続を申し出ていると言う。

昼食時の雑談で、「代理出産希望者」はいないかと職員に投げかけると、子育ても終わり還暦を目前にした一人から、「いくら貰えますか？」と笑顔の反応があったが、「産んだら手放したくなくなるかもねえ…」となり、この代理出産話は、わいわいがやがやの中に、いつしか養育論、育児論へとなくなっていった。

少子化日本。傘寿にあつて、今なお「忘れえぬ話 5編」を、綴ってみた。

テニス三昧の日々

高鍋町 ^{つる}鶴 ^{のり}紀 ^こ子

非常勤で勤務しているT病院に出勤すると、もう50代?の薬剤師さんから「先生、お元気ですね」。「もう…歳ですよ」と返答すると、「いつもきちんとして、懂れています」という嬉しいお言葉!外交辞令にしても心弾むではないですか?

中学時代にソフトテニスを始めて、今もって、いかにテニスに救われているか実感している。大学時代、医学部専門課程1年次5月の連休に九州山口のインカレに参加し、下関で解剖の骨学の部位の名前を覚えていたことも今は懐かしい思い出である。

専門課程に進学すると同学年に女性一人になり、テニスを楽しむ相手もいなくなり、やむなく下級生を誘って卓球部を編成し、西医体(西日本医科体育大会)に参加した。4人一組のチームであるので、二人でシングルス2つ、ダブルス1つ勝つとトーナメントに進める。それでも1回戦は勝ち抜き、2回戦か3回戦で大規模校と対戦して敗退した。

平成元年になり夫婦で思い立ってテニススクールに参加した。本格的に硬式テニスをするのにそれまでの家族テニス時代と異なり、グリップも変えた。某コーチの指導の元に、少しずつ楽しめるようになってきた。当時のテニス仲間と県内の試合に出かけ、徐々に手練になっていった。

永続は力なり。すっかりテニスも脳裡にコートイメージし、対面する相手の位置・空

きスペースが瞬時に?見えるようになり、時にその隙間にボールを打つことが可能になる。スピードはともかく、思うように打てる。

先般より東京に住むA先生ご夫妻のお誘いで、所属学会終了翌日、神宮外苑テニスクラブでテニスをする機会を得た。ネットでそのルールを検索すると「上下とも、白色を着用すること」とある。日頃日除けと称して黒覆面スタイルで、黒手袋、黒ズボンでまるで泥棒スタイルと揶揄される姿から、すっかり衣替えをして白シャツと白ズボンを俄かに購入し、真っ赤なテニスバッグを背中に背負って東京に出かけた。テニス前夜にはご紹介いただいた近くのホテルに宿泊し、また夕食にご招待していただいた。

神宮の森の一隅にあるコートは広く20面もあり、それがすべて朝早くからプレーする人々で一杯なのは驚いた。ビジターが参加できるのは、クラブハウスから離れたコートであった。ご夫妻の友人2名も参加して5人でテニスを楽しんだ。講評をしてくださる方に、「一球一球目的をもって打っている。それとボレーが上手い」と褒められた。苦手なボレーを褒めていただいて、少しは上達したのかなと感じられた。

後日談

調子に乗って学会行脚を続けたところ、鼻風邪をひいて、しゅんとしているこのごろである。

緑寿（ろくじゅ）に思う

宮崎市 宮崎生協病院 ^{えん}遠 ^{とう}藤 ^{ゆたか}豊

今年、65歳を迎え、還暦で新春随想を書いて5年が経った。

高齢者の定義は、時代や地域、行政によって異なるが、「改正道路交通法」では70歳以上を「高齢者」として、高齢者講習の受講や高齢運転者標識の表示を課している。その一方、「高齢者の医療の確保に関する法律」では、65～74歳までを前期、75歳以上を後期高齢者と分けて定義している。この法律が制定された昭和57年時点では65歳以上の高齢者の割合は10%に満たなかったのだが、令和4年には30%近くまで上昇している。また、平均寿命は男女とも7歳以上延びていることから、これまでと同様、65歳以上を高齢者とすることについては議論がある。

2017年日本老年学会、老年医学会は、高齢者の定義を75歳に見直すべきであるとする提言を発表した。65歳以上とした1956年に比べて、医療が進歩して生活環境も改善されたことで、現在の65歳は、以前よりも“若い”と判断したためだ。65歳以上の体力や知力に関する健康データを解析した結果、脳卒中死亡率や要介護認定率などが年々低下しており、身体能力や知力が機能的に上昇していることがわかった。その結果、65歳から74歳までを「准高齢者」と区分し、社会から支えられる側ではなく、社会の支え手として捉え直すことを提言した。「准高齢者」が、まだまだ仕事をしたりボランティアに参加したりするなどによ

って、明るく活力のある高齢化社会を作っていく必要性を訴えている。

自分が65歳を超える年齢になった今、子どものころにイメージしていた65歳とのギャップ（5～10歳の開きがあるのでは）に今更ながら驚いている。また、今の齢まで仕事をしているとは夢にも思わず、悠々自適に隠居生活をしているものと想像していた。ところが、現実には昭和時代と変わらず仕事に忙殺される毎日である。

長寿のお祝いというと満60歳の「還暦」はもっとも有名だが、更には70歳「古希」、77歳「喜寿」、80歳「傘寿」、88歳「米寿」などがある。これに加え、2002年に日本百貨店協会が、65歳「緑寿（ろくじゅ）」というお祝いを提唱した。最近では定年退職が60歳から65歳となったり、介護保険第1号被保険者が65歳であったり、65歳が節目の年となっている。「緑」という漢字をあてたのは、若々しいイメージの緑と、数えで66歳の語呂合わせで「緑緑寿（ろくろくじゅ）」→「緑寿（ろくじゅ）」を掛けたものらしい。今年、宮崎市から介護保険証が送られてきて、年金の手続きの案内が来た。宮交のシニアパスをゲットして、200円でニシタチへ行けることを喜んでいる今日このごろである。



7回目の辰年

宮崎市 獅子目整形外科病院 ^{ししめ}獅子目 ^{けんいちろう}賢一郎

1940年生まれの私は今度7度目の辰年を迎えます。

以前6度目の辰年という文を書きました。それには「6度目の辰年はもう72歳と思うのと、ここまでさまざまな出来事から生き残って、まだ現役で毎日働いていることを大切に毎日を過ごしたい」と。

あれから12年経ち、7度目の辰年を迎えるところまで来ました。相変わらず現役で毎日働いています。身体的には以前と変わらないつもりですが、できることとそうでないことが出てきました。

コロナやウクライナやガザの紛争など、数年前なら考えられないようなことが次々に起こります。人はいつまで生きられるかわかりませんが、高齢の私はあと何年生きられるかと不安になることがあります。次に来よう、別の機会にやろう、と考えてふとその機会が果たして自分にはあるのかと思うようになりました。それで最近は行きたい所に行き、やりたいことはやろうという考えで積極的に外出しています。特にここ2か月は同窓会や学会などで毎週飛行機に乗るような生活をしていました。

万歩計は週末になると1万歩を超えています。10月の札幌での学会時は富良野と美瑛へ行きました。北海道の気温に怯えながらコートやセーターを持参しましたが、さほど寒くなかったです。その後11月に沖縄で学会があり、今度は気温が高いので半袖を引っ張り

だして行きましたが、やはり11月とは思えないほど暑かったです。

伊勢神宮や姫路城、錦帯橋に宮島と日本の昔からの観光地にも行きました。宮島は予想以上に観光客がいたのでびっくりしました。姫路城は遠くで見るのはとても美しいのですが、実際行ってみると階段が多く、昔の合戦は大変だっただろうと感じました。錦帯橋の近くの岩国城にも行くつもりでした。ロープウェイで行けると聞いて行きましたが、降りるとさらに上のほうにお城が見えて「ここから徒歩8分」という案内を見て姫路城のことを思い出し、すぐに行くのを諦めました。自分の脚力や体力を過信せず、タクシーも使いながら欲張らない行程ならまだまだどこへでも行けます。

5年前にロシアサッカーW杯を観に行きました。行く前は『おそロシア』と冗談のように言っていましたが実際は物価も安く、怖い思いもせず楽しく過ごしました。今のような状況など想像することもできません。私が幼少のころ戦争がありましたが、今私の孫世代で同じく戦争の思い出がある子が存在することを悲しく思います。

2度目の辰年～3度目の辰年の間は名古屋で大学生、医者になり結婚し家族を持ち、関連病院で勤務していました。日本で2番目に古い山田赤十字病院にも勤務していました(現在の伊勢赤十字病院)。日本は高度成長の最中で日本社会も自分の生活も変化していった時期でした。

先日同窓会で名古屋を訪れたときに通い慣れた金山ウインズに行きましたが、ほぼ何も

変わっていませんでした。久しぶりでしたがウインズへ行く道はしっかり覚えています。IT化で馬券はどこからでも購入可能になりました。あわせてウインズは昔ながらの記入式で購入できます。SNSに情報がたくさんある時代ですが競馬新聞が最強で、これさえあれば何時間でも時間がつぶせます。

日常生活でデジタル化の波には乗れないかもしれませんが、これからもアナログのよさを大切にしつつ、変わらず過ごしていきたいと思います。

還暦を迎えて思うこと

宮崎市 あきづきクリニックMJ あきづきえいじ 秋 月 英 治

月日が経つのは早いもので、令和6年5月に60歳になります。今までの人生を振り返ってみると、縁に恵まれていたと感じます。私は大阪大学医学部卒業後、第二外科で4年間研修しました。研修後、実家の熊本に帰ることは考えていませんでしたが、阪大第二外科入局のきっかけとなった小川道雄先生が熊大第二外科の教授に赴任されたこともあり、熊大第二外科に入局、大学院卒業後に高千穂町国民健康保険病院に赴任しました。当初は2年間の予定でしたが、最終的に18年間務めさせていただきました。ここで地域医療、手術、検査、内科診療、地域医療の経験ができ、副院長の立場で、病院経営について勉強

させていただいたことが、開業した現在、大変役に立っています。妻は病棟で仲がよかった看護師さんの友人です。結婚前は東京に住んでいましたが、たまたま宮崎に帰省したときに3人で食事したことがきっかけで結婚することになりました。出会う可能性が低い二人が結婚したことに、運命を感じています。

開業して7年が過ぎました。落下傘状態で開業したので、開業当初は不安だらけでした。私はラ・サール学園の卒業生ですが、開業医の先生方に先輩が多く、患者さんの紹介や相談などで開業当初からずっと助けられています。ラ・サール学園のファミリースピリットに感謝しています。

4年前に黒猫ちゃんが娘にくっついて帰ってきました。昔から動物はあまり好きではありませんでしたが、あまりになつくので飼うことにしました。今は一緒に寝るほど仲よしです。ネコとの縁で、ボランティアの方々が野良猫を保護していることを知りましたが、エサや避妊手術の資金が足りない状態です。微力ですが私たちも協力しています。ふるさと納税で寄付もできますので、ご協力いただけるとありがたいです。

これからも年は取り続けますが、気持ちは若いままで、仕事とプライベートを充実させていきたいと思っています。



少年野球

宮崎市 古賀総合病院 ^{いわ}岩 ^{なが}永 ^{いわお}巖

月日が経つのは早いもので、私も今年で還暦を迎える。昭和、平成、令和と3つの時代を生きてきたことになる。大学時代には準硬式野球部に所属し体力には自信があったが、最近ではそうもいけなくなった。小学3年の次男が、大谷翔平選手にあこがれて野球を始めたのだが、練習に付き合うと翌日は膝や腰が痛くなる始末。体力の低下を自覚する日々を過ごしている。

令和の時代の小学生は野球の練習も本格的で、私が大学時代に行っていた練習メニューはすべてこなし、雨天では室内練習も行う。更に筋力トレーニングを行いプロテインの摂取までするので驚いてしまった。バットは木製や金属製は少数派で、今ではカーボン製の軸にウレタンを巻いた複合バットが主流で飛距離も大変よい。打撃音は「カキーン」ではなく「ボコン」である。昭和生まれの私はどうしても違和感を覚えてしまう。

とても小学生とは思えないぐらいみんな野球が上手である。レギュラー選手の父親に話を聞くと、毎朝5時に起床しランニング、キャッチボール、素振り、ノックなど1時間半練習を行い、それから登校させているそうだ。まるで「巨人の星」に登場する星飛雄馬の父、星一徹のようで、この点だけは昭和の時代と何も変わらない。

次男は野球に関しては全くの初心者で、こんなレベルの高いチームに入って大丈夫なの

かと心配していたが、先日初めて試合に出場できた。1打席目の初球をレフト前に弾き返し出塁したかと思うと、すかさず2塁、3塁へ盗塁を決め、相手チームのエラーもあって本塁へ戻って来たのは予想外であった。野球を始めて半年程度で、平日は自宅での練習はほとんどできないのに上出来である。

この先、レギュラーを目指すのであれば私も毎朝5時に起床し次男を特訓しなければならないのだろうが、さすがにそれは勘弁願いたい。私が協力できる範囲で野球を楽しんでもらえればと思う。次男は野球が楽しくて仕方ないようで、これからもずっと練習に付き合うことになりそうだ。私もまだまだ老け込むわけにはいかないのである。

春光会記念コーヒー

日南市 春光会記念病院 ^{やま}山 ^だ田 ^{まなぶ}学

今の住居に移った30年ほど前よりインテリアとして、機会があるたびにコーヒーの苗を購入し育ててきたが、はじめのうちは1年か2年で冬が越せずに枯らしてしまっていた。最近、温暖化の影響と思うが外に出さなければ問題なく越冬できるようになってきた。

7年ほど前にホームセンターで10cm高ほどの苗を400円で2株購入した。2本とも成長がよく2年でかなりの大きさになり、もともと狭い部屋が窮屈になってきた。そのこともあ

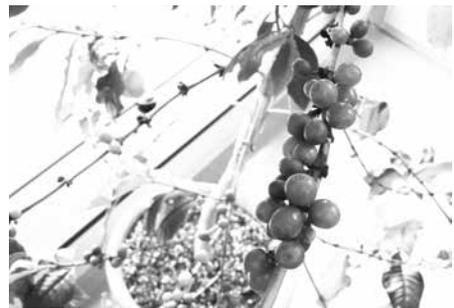
り1本を冬が越せるか外に出したところ、さすがに枯れてしまった。

あるときネットを何気なく見ていたところ、コーヒーの挿し木は難しいというのがあり、それならやってみようと思試したところ何の問題もなく生育してくれ、調子に乗ってしまいかなりの鉢数になってしまった。これ以上室内で飼育するのは困難になり、いくつかを職員に強引にプレゼントし、ほか2鉢を病院のリハビリ室にこっそりおいた。ガラス張り環境がよかったのか令和4年、そのうち1本に数輪の白い花が咲き、放置していたところ2粒の真っ赤な実がなった。

令和5年になり無数の花が咲いたところで94歳のリハビリ患者さんが、「受粉させておきましたよ」と言われた。はじめは「どうもありがとうございます」と全く期待せずに応えていたがその後、なんと約500粒の実がなった。こうなればコーヒーにして飲んでみたくなり、ネットでコーヒー豆の作り方、焙煎の方法を調べたうえで赤くなった約350粒の実から豆を精製した。鉢で育てたためだろうか栄養不足と思われる小粒で軽いものが多いうえに、最初に精製した豆を室温においていたところカビが生えてしまい廃棄したため、最終的には見た目はコーヒー5、6杯分、重量は種子の重さがなく3、4杯分の白いコーヒー豆になった。はじめての貴重なコーヒー豆なので焙煎の失敗は許されないと考え、ネットで焙煎器と生豆1kgを購入し、仕事から帰ると焙煎の練習をした。市販の豆はうまく焙煎できるようになったが、自家栽培の豆は少量同じようにしたところ、粒が小さく中身が少ない分焦げや

すく中断した。市販の豆を使いさらにいろいろ試したが、結局100均の店に行き300円で売っていた鍋を使い弱火でじっくりする方法がよいと判断し、1時間かけてじっくり焙煎した。

令和5年末、味・安全性は保障しないが飲みたい人を募集したところ予想以上の職員が希望したので、最初に来た20名ほどに少量ずつ味わってもらった。評価は香りについてはコーヒーそのもので味は癖のない美味しいものと皆さんヨイショしてくれ、職員のやさしさをあらためて認識した。残念なのは今回のきっかけを作ってくださった94歳の方が、外来で会うたびに「実がなったらコーヒー飲みましょう」と話をされ、最も味わっていただきたかったのだが、途中で体調をくずされ、内科のかかりつけに入院されたため当院を受診されなくなったことである。今年はまだ少し生育に工夫をして良質のコーヒーをつくりたい。



彗星観測の楽しみ

高鍋町 大森内科医院 おおもり ふみ ひこ
大 森 史 彦

以前から私の趣味は天体観測と書いてきましたが、天体の中でも特に彗星（ほうき星）が好きでよく見えています。初めて彗星のことを知ったのは1965年10月ごろ明け方の空に長い尾を引いたイケヤ・セキ彗星でした。テレビで連日話題になっていたので母親に早朝起こしてくれと頼みましたが起こしてもらえず、結局この彗星は見ないで終わりました。世紀の大彗星を見なかったのは今でも悔やまれます。

中学校に入り地学部に所属、ロケットの打ち上げの観察、人工衛星の上空通過などを楽しんでいました。そのころ「星の広場」という全国的な天文愛好家の組織に加入、会員の皆さんが特に彗星観測に力を入れていたので私も自然と彗星に惹かれていきました。

彗星を望遠鏡で見ると、中央集光と呼ばれる明るい輝点の周囲にガス成分からなるコマが広がっています。彗星は太陽からの距離と地球からの距離により日々明るさを変え、長い尾を引く場合もあります。天球上の位置も刻々変化します。この変化がとても面白く今でも観測を続けています。以前は眼視観測が主でしたが、天文の世界もデジタル化が進み今では反射望遠鏡に天体用CMOSカメラで撮影して楽しんでいます。専用のソフト上で指示すれば見たい天体を自動で導入してくれますし画像がぶれないように望遠鏡をガイド、コントロールしてくれます。頑張れば位置の測

定や光度測定もその画像から可能です。すべてデジタルで完了です。フィルムカメラのころのいろいろな苦勞が嘘のようです。夜空いっぱい広がる大彗星の出現を夢見ながら、体が言うことを聞く限りこの趣味を続けていきます。

掲載の写真はフィルム時代の1973年3月14日早朝に撮影したウェスト彗星です。28mmの広角レンズで撮影していますのでいかに大彗星だったかがわかります。庭に出てすぐ邪魔な雲があるなと思っていましたがそれが彗星でした。



精神満腹

宮崎市 宮永内科クリニック 宮永省三

4歳のとき父が他界したため、母親の祖母と一緒に暮らすことになった。元校長の祖父は非常に厳しく、教育にも厳格であった。中学でテニス部に入ったときに、叔母がこっそりラケットを買ってくれた。それが祖父に見つかり、「そんなものを買ってやれば、勉強しないでいいと言っているようなものだ」と、叔母とともにこっぴどく叱られた。そんな祖父をよそに夏はテニス部、冬はサッカー部、そして駅伝の選手と部活三昧な中学生生活であった。

一方で物理に興味があり、放射線に関する本をよく読んでいた。その中学時代に2人の先生が自分のことをとても気にかけてくださっていた。勉強のこと、そして将来のことなど。折に触れ、説教と厳しい指導をしていた。今になって思い出すたびに本当に有難かったと思う。

大学で量子論を学んだが、卒業後に医学部に行くことを決めた。心配させたくはなかったので母親には受験のことは黙っていた。宮

医大に合格したが、母親に迷惑はかけたくなくて、入学金や授業料は自分で稼いだ。この医大受験の時期に2人の方に大変お世話になった。生活費を稼ぐためのアルバイトの斡旋や、食事の世話や洗濯など。卒業後も、そして開業後も変わりなく温かく見守っていただいた。この受験の期間は自分で生活費を稼ぎながらであり大変ではあったが、アルバイトも多種多様な仕事を経験できたし、辛いと思うより、思いっきり自分のしたいことができる嬉しさのほうが勝っていたように思う。受験勉強にも集中していたが、テニスにも全力をつぎ込んでいた。自分の青春そのものだったような気がする。このころのことは今でも生き生きとした懐かしい思い出として蘇ってくる。1日24時間の内、8時間は睡眠、8時間は受験勉強、そして残りの8時間をアルバイトとテニスの練習に費やした。アルバイト、受験勉強、そしてテニスと、青春を思い切り満喫した1年間であった。いろいろなことに精一杯取り組んで、自分の人生を思いっきり満喫した、「精神満腹」の期間だったかな～と思う。そう、自分の宝そのものかな。これからもそのように生きたいと思う。

お知らせ

カット、イラストの募集

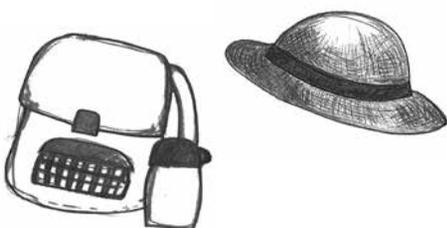
日州医事のページを飾るカットやイラストを募集しております。ぜひ、作品をお寄せください。

なお、白黒での掲載になります。採否は広報委員会にお任せください。

原稿宛先

宮崎県医師会広報委員会

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101
genko@miyazaki.med.or.jp



表彰・祝賀

社会福祉功勞により厚生労働大臣表彰

さ とう げんじろう
佐 藤 元二郎 先生（西白杵）

令和5年11月15日，社会福祉功勞により厚生労働大臣表彰をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に，今後ますますのご活躍を祈念いたします。



国民年金基金 のご案内

日本医師・従業員支部

全国国民年金基金 日本医師・従業員支部は、
「日本医師会」を設立母体とする
日本医師・従業員国民年金基金が、
全国基金への統合に伴い移行した
医師・医療従事者のための職能型支部です。

不確実な将来に、今、備える



国民年金基金は、
国民年金(老齢基礎年金)に上乘せする
「公的な年金制度」です。

国民年金基金のおすすめポイント ～税優遇を活かして老後に備える～

1 税制上の優遇措置

掛 金 掛金は全額社会保険料控除の対象となり所得税、住民税が軽減されます。
(掛金上限額(816,000円/年)まで控除の対象)

年 金 受け取る年金にも公的年金等控除が適用されます。

遺族一時金 遺族一時金は全額が非課税となります。

2 生涯にわたる給付

人生100年時代に向けた「終身年金」が基本です。

税理士のご紹介で
加入されている方が
増えております。

3 ご家族及び従業員の方も加入可能

同一生計のご家族の掛金も負担した方の社会保険料控除の対象となる税制面のメリットがあります。

国民年金基金に加入できる方

- 20歳以上60歳未満の国民年金の第1号被保険者の方
- 60歳以上65歳未満で国民年金に任意加入している方
- 厚生年金の被保険者は加入できません。
主に、個人立診療所の医師、従業員、ご家族などとなります。



お問合せは下記の基金事務所へどうぞ

全国国民年金基金 日本医師・従業員支部

☎ 0120-700650
FAX 03-5976-2210

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨1-6-12 マグノリアビル2階

ポイント

HP上でもシミュレーションや
加入申出のお手続きができます!



特 集

宮崎大学医学部・旧宮崎医科大学開講50周年記念事業



開講 50 周年



第2回 50周年に寄せて

宮崎大学医学部 医学科 同窓会長 まる やま ま すぎ
丸 山 眞 杉

今年、ついに宮崎大学医学部（旧宮崎医科大学）は創立50周年を迎えます。

この歳になっていろいろなことがよい具合に霞んできていますが、昔のことは鮮明に覚えています。1974年の初夏、19歳の私は漫画雑誌、弁当と清涼飲料水を持って兄に見送ってもらい、東京駅から宮崎行きの寝台列車に乗り込みました。新設医科大学として創設された宮崎医科大学の受験に臨むためでした。当初36倍の狭き門と聞いていたので合格できると思わず、旅行がてらに受けてみるかぐらいの気持ちでした。ところがなんの間違いか合格してしまったのです。世の中は判らんものです。入学してみると大学はおろか講義棟もないヴァーチャル医学部で、教師陣は県病院に居候していま

した。講義は県運動公園の合宿所で行われました。隣は野球場で長嶋監督の拡声器からの声が聞こえるという、のほほんとした大学生活の始まりでした。宮交シティの近くの鬼塚旅館に四畳半の部屋を借りて住むという生活でしたが、不安は感じませんでした。もとより、阿呆と不安は両立しないのかもしれませんが。学生課の掲示板には、「農家の庭先を通るときには挨拶をしましょう」なんて書いてありました。講義棟が翌年に完成し、研究棟、病院と医学部の完成をこの目で見てきました。看護学科も創設されました。それからもうすぐ50年になります。なんと19歳で宮崎に越してきた私は、その後ずっと宮崎の地を住処として古希に至ります。もう一度言わせてください。世の中は判らんものです。



仮校舎
(昭和49年宮崎県総合運動公園内)



すぐ裏の野球場でプロ野球キャンプ



医学部2年生のとき。吉原氏との九重船山登山。ミヤマキリシマが真っ盛りでした。この登山のため文化人類学の集中講義をサボり、単位を落としました(大学初)。念のため、右が私です。この黒髪はどこへやら、とほほ。

創設以来、奮闘を続けてきた宮崎医科大学、宮崎大学医学部は常に「新設」というカテゴリーで捉えられてきました。医学部長時代に出席していた医学部長病院長会議でもこの範疇で語られることに違和感を覚えました。勿論、80歳、90歳が活躍している世界では50歳は漢垂れとはいへ、50年も経ったのですからそろそろ新設という言葉は外してもらいたいものです。そんな理由もあって50周年という節目に私はこ

だわっています。どんな物にもカテゴリーが存在するのは仕方のないことですが、これを節目に、宮崎大学医学部が新設という枠をはずれて、これまで鋭意努力して歩んできた、地方の拠点となる「地方国立大学医学部」として地域医療の要、必要不可欠の存在として語られることを望んでいます。

今年の50周年記念式典では、出来の悪い、不埒な私を含めてたくさんの医学生、看護学生を育てていただいた医学部に感謝を込めて、同窓会「篠懸会」がバックアップして徳永二男さんによる格調高いコンサートも開催します。ぜひ多くの人の参加をお待ちしております。また、初代学長の勝木先生の名前を冠した講義棟の改修も目論んでおります。皆様におかれましては大盤振る舞いのご寄付をなにとぞよろしくお願いいたします。

追記

昔の出来事は鮮明に憶えているなんて書きましたが、当時のことで誤っていたらお赦してください。ご存じのように、記憶というのは当てにならないものです。何しろ50年ですから。

宮崎大学医学部開講50周年記念式典

日時 2024年10月13日(日) 14:00~

会場 シーガイアコンベンションセンター

プログラム

医学部50年の歩み 新たな一步を篠懸と共に

篠懸会 Presents

徳永二男 ヴァイオリンリサイタル



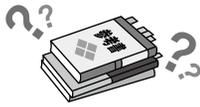
宮崎大学医学部・旧宮崎医科大学
開講50周年記念事業ホームページ

<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/50thanniversary/>

記念事業へのご寄付に、なにとぞ協力お願い申し上げます。



開講50周年記念事業
ホームページはこちら



あなたできますか？

—令和4年度 医師国家試験問題より—

(解答は39ページ)

1. 我が国の対策型がん検診で行われる乳がんの検査方法はどれか。
 - a CT
 - b MRI
 - c 視触診
 - d 超音波検査
 - e マンモグラフィ
2. 吐血よりも咯血を示唆する所見はどれか。
 - a 悪心を伴う。
 - b 咳嗽を伴う。
 - c 食物残渣を伴う。
 - d タール便を伴う。
 - e 暗赤色の色調である。
3. 月経は何を排出するために起きているか。
 - a 血液
 - b 頸管粘液
 - c 子宮内膜
 - d 膣分泌物
 - e 卵管分泌物
4. プライマリヘルスケアについて述べられているのはどれか。
 - a オタワ憲章
 - b アデレード宣言
 - c ジュネーブ宣言
 - d ヘルシンキ宣言
 - e アルマ・アタ宣言
5. すべての新生児に対してマススクリーニングが行われているのはどれか。
 - a Menkes 病
 - b Gaucher 病
 - c Lesch-Nyhan 症候群
 - d メープルシロップ尿症
 - e 副腎白質ジストロフィー
6. てんかん発作の焦点が側頭葉に存在すると考えられる症状はどれか。
 - a 口をもぐもぐさせる。
 - b 会話中に突然眠り込む。
 - c 目の前がチカチカする。
 - d 両上肢をピクッと動かす。
 - e 全身強直後にけいれんする。
7. 精巣腫瘍の治療方針決定に使われる血液検査はどれか。3つ選べ。
 - a ヒト絨毛性ゴナドトロピン (hCG)
 - b α -フェトプロテイン (AFP)
 - c CA19-9
 - d CEA
 - e LD
8. プロトロンビン時間の測定を行う血液検体に最も適した抗凝固剤はどれか。
 - a EDTA
 - b ヘパリン
 - c ワルファリン
 - d フッ化ナトリウム
 - e クエン酸ナトリウム
9. Tリンパ球機能低下による日和見感染症でないのはどれか。
 - a 粟粒結核
 - b 食道カンジダ症
 - c 肺炎球菌性肺炎
 - d ニューモシスチス肺炎
 - e サイトメガロウイルス感染症
10. 57歳の男性。左耳痛を主訴に来院した。昨日から左耳痛があり、今朝から左側の顔が動きにくく、左眼が閉じられなくなったため受診した。左耳介に紅斑と水疱の形成を認める。左側の顔面麻痺を認める。

この疾患の原因となるウイルスはどれか。

 - a アデノウイルス
 - b 単純ヘルペスウイルス
 - c Epstein-Barr ウイルス
 - d 水痘・帯状疱疹ウイルス
 - e ヒトパピローマウイルス

エコー・リレー

(582回)

(南から北へ北から南へ)

韓国ドラマ

宮崎市 岡田整形外科 福嶋 秀一郎



Netflixを契約した。ピートたけしの半生を描いた「浅草キッド」を観るために…。それがこんなにも「韓国ドラマ」にはまることになるうとは…。

以前うちのスタッフに韓ドラを勧められたものの、「韓ドラなんて面白いわけがない…」と韓ドラを否定する自分がいた。「先生、『愛の不時着』面白いですよ」。そう言われても「愛の不時着」ってネーミングが…、そう思って観ることはなかった。

ある日、ダウンタウンの浜ちゃんが、「愛の不時着」にはまっているとのネット記事を見た。あの浜ちゃんがはまっているのだったら…、そう思ってとりあえずNetflixで「愛の不時着」を観た。不覚にもはまってしまった。

日本のドラマと違って全く知らない俳優、女優が作り上げるドラマが新鮮であった。日本のドラマは、出演する俳優、女優の日常を少なからずテレビやネットを通じて知る機会が多い。そのためどうしてもドラマを観ているときに、出演者に対する先入観が入ってしまう。韓ドラは出演している俳優、女優をほとんど知らないため、先入観なく純粋に作品を楽しむことができる。そこがはまった理由の一つかもしれない。

最近は観すぎているせいか、「この人はあのドラマにもでていたな。」と思うようになってきた。そのうち観始めていたときのような新鮮さはなくなってくるのかもしれない。ただ今のところは、健康のためルームランナーで走りながら韓国ドラマを観るのが、私の楽しみの一つである。

[次回は、宮崎市の井上 知宏先生をお願いします]

医師の不養生

日南市 きよひで内科クリニック 河野 清秀



患者さんには日頃から、病気について今までの生活習慣、遺伝、そして人間の進化的側面、例えば、立位、陸上生活、恒温動物、男女などに分けて説明しています。患者さんはフムフムと聞いています。

コロナ禍より発熱外来診療を行っております。昨年

9月28日、私は2回目のコロナ罹患。そして11月1日にインフルエンザに罹り、その後11月15日に肺炎となり入院。肺化膿症となりました。日頃から注意していたつもりです。コロナワクチンはすべて打っており、インフルエンザワクチンも10月末に打ちました。インフルエンザ後も咳、痰が続き、フラフラするなどは思っていました。熱もなく軽く考えていました。しかしながら、CTを撮って見たところ右の中葉が真っ白でした。早速院内で点滴をしましたが改善せず県病院に入院。その後呼吸苦や熱が出ました。結果、肺化膿症となり入院が長引きました。診療中は、使命感からの興奮状態で症状がマスクがされたのではと考えました。

「肺炎は、老人の友」、「酸素吸うからどうしても肺が痛むんですよ」、「タバコだめですよ」、生活習慣や進化的側面より、患者さんにそう言っておりますが、自分が罹るとは…。しかし、客観的に考えますと今年で72歳となります。健康寿命も宮崎県では73、4歳とのこと。喫煙したこともなく、家族歴に肺炎などないので、40年以上の臨床医、26年の開業医生活や年齢的なものと考えます。自分のこととなると、どうしても軽く考えます。医師の不養生というのは、こういうことなのかなと思われ入院された入院でした。

3週間ほど入院しましたが、代診は大学に依頼いたしました。その他の夜間急病センター、日曜当番医、いろんな先生方をお願いしました。それにしても開業医の年齢が上がっている時代においては、なかなか厳しい状況になってきたかと考えています。これらも含めて医師の不養生？なのかなと考えております。

医者、特に個人開業医は不養生になるものと考えて「働き方改革」としなければ、今後の地域医療は守れないのではと危機感を抱きました。深く考えさせられた入院の教訓でした。

[次回は、綾町の玉置 昇先生をお願いします]

メディアの目



新成人へ熱いメッセージ

宮崎日日新聞社 報道部長

なか がわ み か
中 川 美 香

前回のコラムでも触れたが、20歳の双子の娘がおり、先日、成人式（「はたちの集い」）を迎えた。晴れ着姿の背中を見ながら、二人とも低出生体重児で母子手帳の発育曲線グラフに身長、体重を書き入れる目盛りがなく、自分で付け足して記録していたことを思い出した。ここまで育ったことに感謝の気持ちがこみあげた。また、娘たちが小・中・高時代、私は子ども会役員、読み聞かせボランティア、広報係、学級役員…などを引き受けまくっていたため顔なじみの子が多く、「ミカママ！」とたくさんの声をかけられた。彼、彼女らは大工や事務員として働いていたり、看護師や美容師の資格を取り関東に行くことが内定していたり、アナウンサーやパイロットを目指し勉強していたり。それぞれの道をしっかり歩んでいて頼もしかった。

そんな「はたちの集い」で皆が聞き入った話があった。清山知憲・宮崎市長のビデオメッセージだ。「失敗を恐れずがむしゃらに努力、挑戦して」などと言葉を贈った後、市長は終盤でこう語り始めた。「女性の皆さんは、子宮頸がんを予防するためのHPVワクチンの無料期間があと1年3か月で終わります」。

子宮頸がんは20代でもかかり、30代後半で発症のピークが来ること。「皆さんは国がワクチン推奨を保留していた世代」だということ。

今は再び勧められていること。市長はこれらを説明したうえで、3回打ち終わるまでに半年かかるため「今年9月までに必ずご検討を」と時期を明示して呼びかけた。

国が勧奨を控えた間に機会を逃した女性（1997年4月2日～2007年4月1日生）への「キャッチアップ接種」。これを直接伝えられる機会を捉えての、冷静だが熱を帯びたメッセージだった。真剣に考えなければ一と思った出席者は多かったのではないか。

県によると、本県の子宮頸がんの罹患率は全国ワースト（2019年）。ワクチン接種の初回実施率（2022年）は全国平均より約10ポイント低い。接種を検討してもらうためにも、情報を届けることは重要だ。SDGsの目標「すべての人に健康と福祉を」にも合致し、メディアも役割を果たしたいと思う。「キャッチアップ接種」の無料期間延長を求める動きもあり、注視していきたい。

わが家の娘たちはというと、昨年度に接種を済ませた。「はたちの集い」で再会した子たちはどうだろうか。手元に十分な情報はあろうか。大人になって分かることだが、夢を叶えるためには健康が大事。新成人の皆さんには、自分を大切にできる人になってほしいと願っている。

身近なお困りごと相談室

本コーナーでは、「医療機関での身近な疑問や質問」について、各分野の専門家が回答いたします。

第29回 待合室で発生したわいせつ事案への対応について



Q.

当院の待合室で10代女兒へのわいせつ事案が発生しました。隣に座っていた中年男性が執拗にスカートの中を覗き込もうとしていたようです。母親からの報告ですぐに監視カメラを確認して事実であると判断しています。

しかしながら、患者家族が警察の介入までは望んでいませんでしたので、本院から警察への通報は行いませんでした。その後、本院でもスタッフと今後の患者様の安全対策について検討していますが、今回のような場合、本来どのように対応すべきなのでしょう。また、このような問題を起こす方に対して、通院拒否などの対応をとることは可能なのか教えてください。

まず、院内でこのような問題行動を生じさせる者のために、医療業務に支障が生じ、結果的に医療従事者の皆様や善良な患者さんに多大な負担と不利益が生じてしまうことに、筆者も強い憤りを感じます。

さて、本件の中年男性が行った「スカートの中を執拗に覗き込む行為」は、宮崎県迷惑行為防止条例違反となる可能性が高く、この場合懲役刑と罰金刑が定まった犯罪行為となります。このような犯罪行為が発生した場合、管理者としては、まず被害者を保護するとともに、周囲の方々の安全を確保することが最優先となります。

本件の場合、被害者の母親からの報告および監視カメラより犯罪行為の事実が確認された以上、被害者を別室で保護するとともに、速やかに警察に通報して中年男性の身柄を確保し、その後は警察の捜査に委ねるのが適切であったと考えます。確かに、警察へ通報することで問題が大きくなることを避けたいという被害者の心情は深く理解できるものの、当該中年男性が暴れるなど、更なる被害が生じる事態を避けるためにも、警察へ通報することの必要性を被害者や親族に説明して、警察による介入を求めることが適切であったと考えます。

また、このような患者による犯罪行為が発生した場合に備えて、防災訓練と同様、発生した場合の対処方法や所轄警察署の連絡先の確認・通報の流れなどを日頃からスタッフと共有しておくことも大切です。

さて、このような問題行動を起こす患者に対する通院拒否の可否ですが、応召義務において診療を拒絶できる「正当な事由」の1つに、「診療の基礎となる信頼関係を喪失させる患者の迷惑行為」があります。本件のような院内の秩序を乱す犯罪行為は、まさに信頼関係を喪失させる迷惑行為に該当すると考えられますので、通院を拒絶することが可能でしょう。そのため、毅然とした態度で以後の通院を拒絶することがよいと判断します。

(回答 宮崎県医師協同組合顧問弁護士
弁護士法人きさらぎ 代表弁護士 高山 桂)

A.



<医療機関での身近な疑問、質問をお寄せください>

- 文字数：200字以内
- 質問はメール (genko@miyazaki.med.or.jp), FAX, 郵送などでお送りください。
※匿名での掲載になります。採否は広報委員会にご一任ください。

私 の 本



小林市 池井病院

おお つか のぶ あき
大 塚 伸 昭

イラストで学ぶ病気の基礎3

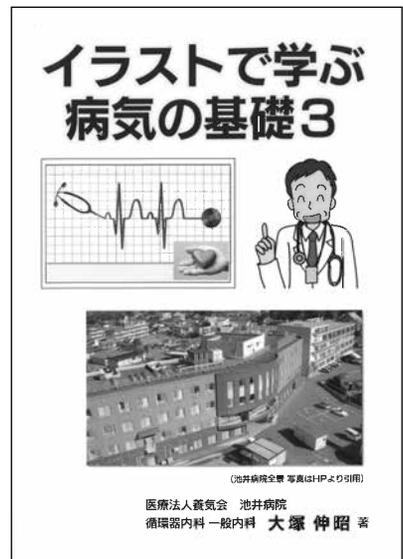
印刷：宮崎紙工印刷
非 売 品

自費出版5冊目となる上記タイトルの本を30部印刷し、私の出身医局の宮崎大学第1内科の先生や小林市内のいくつかの病院に贈呈しました。300頁弱の本となっていていろいろな分野の病気を解説しました。患者さんや看護師、医療従事者の皆さんの参考になるかと思います。今回は特にイラストが大きく分かりやすいため、先生方からも高い評価をいただきました。本を購入したいとの問い合わせも多くいただいています。

以前自費出版した「わかりやすい病気の話&人体解剖・薬の基礎知識」と「イラストで学ぶ病気の基礎」は宮崎県医師会図書室に置いていただきました。今回も医師会に贈呈したので置いていただけるかと思しますので、興味のある方はぜひご一読ください。

この本の内容は私のHP「大塚先生の診察室パート3 (<https://nibuaki.biz/>)」からも無料でダウンロードできます。

本は非売品となっていますが、購入などを希望される方がいらっしゃいましたら、宮崎紙工印刷 ([msp@m-shikou.net](mailto:mshikou@m-shikou.net)) にお問い合わせください。



医師の求人・求職は 日本医師会 女性医師バンク をご利用ください！

日本医師会女性医師バンクは厚生労働省の委託事業です。
登録から紹介・成立まで、費用はすべて無料で利用できます。



女性医師バンクが選ばれる3つのポイント

ポイント

1 登録～成立まで費用はすべて無料

登録料、情報掲載料、紹介手数料、成立手数料、相談・サポートなど、
すべて無料でご利用いただけます。

ポイント

2 専任のコーディネーターによるサポート体制

経験豊富な専任のコーディネーターが、紹介～成立後の相談まで
きめ細かにサポートいたします。

ポイント

3 日本全国、日本医師会の会員・非会員を問わず利用が可能

まずはお気軽にご相談ください！

☎03-3942-6512 (平日10:00～17:00)

詳しくはWebサイトをご覧ください

日本医師会女性医師バンク

検索

日本医師会女性医師バンク 中央センター 〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 日本医師会館B1F

宮崎県感染症発生動向 ～12月～

令和5年12月4日～令和5年12月31日（第49週～第52週）

■全数報告の感染症

1類：報告なし。

2類：○結核5例（男性3例・女性2例）：宮崎市（4例），日南（1例）保健所管内から報告があった。病型は肺結核が2例，その他の結核（結核性リンパ節炎）が1例，無症状病原体保有者が2例であった。年齢は80歳代が3例，0～4歳と40歳代が各1例であった。

3類：報告なし。

4類：○E型肝炎1例：宮崎市保健所管内から報告があった。60歳代の男性で，無症状であった。

○つつが虫病15例：保健所別報告数は【図1】，年齢別報告数は【表1】のとおりであった。主な症状として頭痛，発熱，刺し口，リンパ節腫脹，発疹等がみられた。

○レジオネラ症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は80歳代で，病型はポンティアック熱型であった。主な症状として発熱，咳嗽，鼻水，痰，倦怠感がみられた。

5類：○アメーバ赤痢1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は30歳代，病型は腸管アメーバ症で，主な症状として下痢，粘血便，腹痛，大腸粘膜異常所見がみられた。

○急性脳炎1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は70歳代で，病原体はインフルエンザウイルスAであった。主な症状として発熱，頭痛，意識障害，四肢麻痺，構音・嚥下障害がみられた。

○劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例：都城保健所管内から報告があった。年齢は50歳代と60歳代で，主な症状としてショック，腎不全，DIC，中枢神経症状，軟部組織炎がみられた。

○侵襲性インフルエンザ菌感染症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は80歳代で，主な症状として発熱，肺炎，菌血症がみられた。

○梅毒11例（男性7例・女性4例）：都城（5例），宮崎市（4例），延岡（2例）保健所管内から報告があった。病型別報告数は【表2】，年齢別報告数は【表3】のとおりであった。主な症状として初期硬結，硬性下疳，鼠径部リンパ節腫脹，梅毒性バラ疹，丘疹性梅毒疹，神経症状，腎機能障害，肝機能障害がみられた。

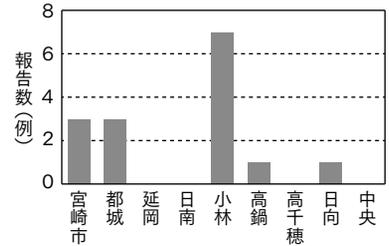


図1 つつが虫病 保健所別報告数(例)

表1 つつが虫病 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
20歳代	1
40歳代	1
50歳代	1
60歳代	3
70歳代	8
80歳代	1

表2 梅毒 病型別報告数(例)

早期顕症梅毒Ⅰ期	6
早期顕症梅毒Ⅱ期	2
晩期顕症梅毒	1
無症状病原体保有者	2

表3 梅毒 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
20歳代	1
30歳代	3
40歳代	2
50歳代	4
60歳代	1

■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は15,186人（定点あたり302.5）で，前月の132%，例年（新型コロナウイルス感染症は除く）の544%であった。

前月に比べ増加した主な疾患はインフルエンザ，新型コロナウイルス感染症及び感染性胃腸炎で，減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎，手足口病及びヘルパンギー

■病原体検出情報（微生物部）

	検出病原体	件
細菌	EPEC (OUT:HUT)	1
	EHEC (O111:HNM VT1)	9
	Salmonella Thompson (O7:k:1,5)	1
ウイルス	Influenza virus A H1pdm09	3
	Influenza virus A H3	2

ナであった。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患はインフルエンザ、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び感染性胃腸炎であった。

インフルエンザの報告数は11,147人（192.2）で前月の約1.7倍であった（例年値1.5）。延岡（328.4）、中央（288.5）、高鍋（239.5）保健所からの報告が多く、15歳未満が全体の約7割を占めた。

新型コロナウイルス感染症の報告数は900人（15.5）で前月の約1.7倍であった。延岡（32.3）、日南（20.4）、日向（16.8）保健所からの報告が多く、20歳未満が全体の約4割を占めた。

■月報告対象疾患の発生動向〈2023年12月〉

□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は36人（2.8）で、前月比69%と減少した。また、昨年12月（2.8）と同率であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数23人（1.8）で、前月の約0.7倍、昨年12月の約1.3倍であった。20歳代が全体の約8割を占めた。（男性7人・女性16人）
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数5人（0.38）で、前月の約0.8倍、昨年12月の約0.7倍であった。（女性5人）
- 尖圭コンジローマ：報告数1人（0.08）で、前月と同率、昨年12月の約0.3倍であった。（女性1人）
- 淋菌感染症：報告数7人（0.54）で、前月の約0.6倍、昨年12月と同率であった。（男性6人・女性1人）

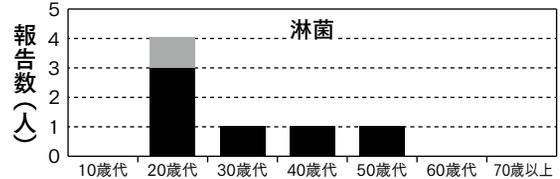
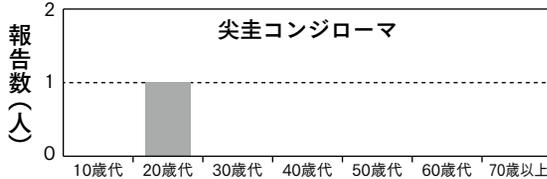
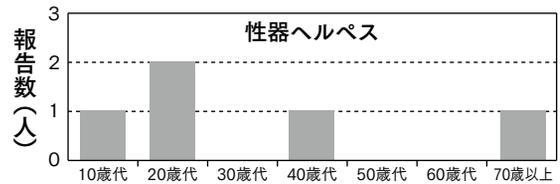
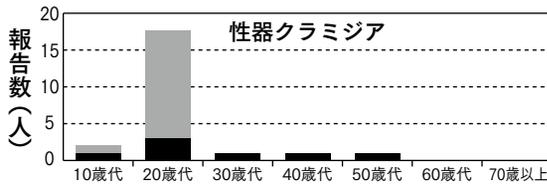
前月との比較

	2023年12月		2023年11月		例年との比較
	報告数(人)	定点当たり(人)	報告数(人)	定点当たり(人)	
インフルエンザ	11,147	192.2	6,714	115.8	★
新型コロナウイルス※1	900	15.5	537	9.3	
RSウイルス感染症	1	0.0	4	0.1	
咽頭結膜熱	585	16.3	729	20.3	★
溶レン菌咽頭炎※2	907	25.2	1,248	34.7	★
感染性胃腸炎	1,280	35.6	912	25.3	★
水痘	8	0.2	12	0.3	
手足口病	231	6.4	300	8.3	
伝染性紅斑	1	0.0	4	0.1	
突発性発しん	64	1.8	73	2.0	
ヘルパンギーナ	5	0.1	37	1.0	
流行性耳下腺炎	2	0.1	5	0.1	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	55	9.2	72	12.0	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	0	0.0	0	0.0	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.0	0	0.0	

★例年同時期（過去3年の平均）より報告数が多い

※1 新型コロナウイルス感染症

※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



■男 ■女

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は19人（2.7）で、前月比106%と増加した。また、昨年12月（3.3）の約0.8倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数19人（2.7）で、前月の約1.1倍、昨年12月の約0.8倍であった。70歳以上が全体の約6割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

（宮崎県衛生環境研究所）

各郡市医師会だより

西 諸 医 師 会

近年の少子化にともない、入学生減少と講師や実習施設確保困難を理由に2023年3月に西諸医師会が運営する小林准看護学校（昭和34年開校）は幕を閉じました。これまでに2,159人を地元の病院などに送り出してきました。

また、昭和48年に建設された小林准看護学校兼西諸医師会館も築50年となり老朽化が進み、2023年末に解体作業を終え現在、新会館の建築を計画中です。来年度中に完成できればと思っております。バリアフリーの鉄骨平屋のデザインを想定しております。完成後、西諸にお越しの際にはぜひお立ち寄りください。

2021年4月から設立された小林市立病院の災害医療・救急医療支援講座は3年目になり有難いことです。しかし、同院の内科常勤医は不在のままでありまだまだ課題が山積みです。

外科・救急専門医の先生方が大変なご苦勞をされ内科入院患者に対応していただいております。行政にはなんとか西諸の医療体制維持のために更なる尽力を求めたいと考えています。

働き方改革のため4月からは医師の時間外労働規制も開始予定であり、これからも医師会員で力を合わせて頑張っていく所存です。

(吉村 雄樹)

宮 崎 市 郡 医 師 会

「醫友しののめ」編集委員会の主担当理事をさせていただいて1年が過ぎました。年3回発行しており、会員の先生方との座談会や随筆、川柳、短歌やお気に入りの写真といったさまざまな内容で構成されています。令和5年12月1日には172号を発刊することができましたが、実は歴史が長く初版発行は1964年9月1日だそうです。この当時を知っている先生方もたくさんおられるのではないかと思います。この歴史ある「醫友しののめ」をその時代の状況を反映しながら編集委員の先生方とワイワイ言いながらこれからも作り上げていきたいと思っております。

(上山 貴子)

都 城 市 北 諸 県 郡 医 師 会

昨年4月にこども基本法が施行されました。こどもの権利を保障し、社会全体で子育てを支援する「こどもまんなか社会」を目指していく政策です。都城市でも、こどもまんなか会議が設置され委員となりました。私としては、こどもが医療を受ける権利が将来保証されるか心配です。近隣の曾於市では2軒あった小児科医院が高齢のために閉院されました。都城夜間急病センターの週2回の小児科準夜当直を担当する65歳未満の開業医師が少なく危機的状況です。こどもの医療を受ける権利をなんとか守っていききたいものです。

(丸山 浩一)

延岡市医師会

延岡市学校保健研究大会では、スマホ依存と、HPVワクチンに関して講演いただきました。スマホ依存による脳の変化は、回復はしますが治癒はありません。デジタルデトックスに家族で取り組むことが大切です。また、子宮頸がんの撲滅を目指して、医師会を挙げてHPVワクチンの必要性をPRする工夫も必要です。更に、今年は、本県で全国学校保健・学校医大会があります。「未来ある子供たちのために、今学校医ができること」がテーマで、学校医のあり方を考えるよい機会と思います。

(大重 明広)

日向市東臼杵郡医師会

日曜祝日在宅当番医制度はほとんどの郡市医師会で運営している一次救急診療事業で、当会でも1980年から現体制で9時から22時まで対応してきました。インフルエンザ流行時には1日100名を超えることもありましたが、コロナ禍となり状況が一変しました。診療するにあたり時間・空間分離や十分な感染防護が必要となったからです。設備や人員の限られた診療所では1日に60名が精一杯です。おまけに働き方改革です。当会では診療応需困難が予想される場合は2次救急病院に応援を依頼することとして、本年4月から在宅医の診療時間を18時までに変更いたしました。

(今給黎 承)

児湯医師会

私事ですが、年明けに2年遅れての中学時代の還暦同窓会が開催されました。本県医師会に所属している同窓生は8人です(出席は2人だけでした)。かつての新人類も、今や老体に鞭打ち、身を粉にして地域医療に貢献しているこ

とと思います。

さてコロナの第5類移行後、当医師会では、対面式のみ講演会も開催されつつも、インフルエンザの大流行もあり、当会員は慎重派が多数のようです。ちなみに、忘年会・新年会を開催した施設は約1割(無作為抽出法)に留まっておりました。

(永友 淳司)

西都市西児湯医師会

12月に、脱水症に関する看護巡回講座が開催され、西都児湯医療センターの小田先生や清水看護部長らを講師に、多くの市民が参加されました。好評につき2月にも講演依頼があり、西都市や西都児湯医療センターと協働開催予定です。2月29日には宮崎市郡医師会副会長 牛谷義秀先生を講師にお迎えし「多職種連携ツールメディカルケアステーション(MCS)を使った在宅診療の実際」と題した、ICTシステムを使った医療介護研修会が開催されます。訪問看護ステーションでの活用の実際もご紹介予定です。

(片山 陽平)

南那珂医師会

日南・串間では、月1回、多職種での在宅ケア研究会を開催しています。毎月各事業所が担当となり、あるテーマを持ち寄り学習します。新型コロナの感染対策の面から講義形式が多かったですが、今年から事例検討でのグループワークも再開しています。机の上で模造紙を多職種メンバーで囲んで、「ああしたら」、「こうしたら」と意見を出す。今やZoomを使ったオンラインでもグループワークは可能ですが、やっぱりリアルに輪になって語りあうというのは、よし明日からこうしてみようというモチベーションは違います。

(飛松 正樹)

九州各県医師会学校保健担当理事者会

と き 令和5年11月18日(土)

ところ 福岡県医師会館

高木常任理事（宮崎県医）の司会により開会し、急遽欠席となった河野会長（宮崎県医）の挨拶を高木常任理事（宮崎県医）が代読した。続いて、峯苔理事（熊本県医）から、8月5～6日に熊本県担当で開催された「第67回九州ブロック学校保健・学校医大会並びに令和5年度九州学校検診協議会（年次大会）」について御礼が述べられた。その後、高木常任理事（宮崎県医）が座長に選出され、協議が行われた。



協 議

- 1 「第55回全国学校保健・学校医大会」/
「第68回九州ブロック学校保健・学校医大会並びに令和6年度九州学校検診協議会（年次大会）」開催要項（案）について
(宮崎県)

下記の日程で行うことを説明し、原案のとおり承認された。

〈11月8日(金)〉

九州医師会連合会学校医会関係行事

17:00	九州医師会連合会学校医会 評議員会
17:30	九州医師会連合会学校医会 総会
18:00	※都道府県医師会会長招宴 (全国学校保健・学校医大会関連行事)

〈11月9日(土)〉

第55回全国学校保健・学校医大会 ※予定
メインテーマ：「未来ある子ども達のために、
いま学校医ができること」

9:00	受 付
10:00	分科会 第1分科会～第5分科会
12:00	昼 食 都道府県医師会連絡会議
13:00	開会式・表彰式 次期担当県医師会会長挨拶
14:00	シンポジウム
17:30	特別講演
	閉 会
18:30	懇親会

〈11月10日(日)〉

九州学校検診協議会関係行事

9:30	九州学校検診協議会 専門委員会
11:30	九州学校検診協議会 役員会

2 いじめ及び自殺対策の推進について(福岡県)

＜提案要旨＞

本県においては、いじめの増加に加えて自殺など深刻な事態につながりかねない「重大

事態」に該当するケースも増加傾向にある中、県教育委員会内には「いじめ問題対策連絡協議会」や「いじめによる重大事態再調査委員会」が設置されており、いずれも本会役員が委員として参画し、医療の専門的見地から意見を述べている。また先般、いじめによる生徒の自殺事案が発生した学校が設置する第三者調査委員会への精神科医師の推薦依頼があり、専門医会と協議のうえ推薦する予定としている。

いじめを原因とした自殺を未然に防ぐためには、学校におけるいじめの早期発見および早期対応とともに、被害児童のメンタルヘルス対策が重要と考える。本県では、「健康教育推進事業（性と心の健康相談）」において、各県立高校に配置された精神科医師が児童生徒のいじめなどに関する健康相談を通じて支援を行っているところだが、今後も医師会として教育委員会などの関係機関と連携しながらいじめおよび自殺対策を推進していく必要があると考えている。

各県医師会において、いじめおよび自殺対策として取り組まれていることや、自殺事案の発生後の調査委員会などへの関わりなどがあればお伺いしたい。

各県回答 各県とも県の自殺対策協議会には役員などが参画していたが、教育委員会が設置する児童・生徒のいじめ・自殺対策の会議体に参画しているのは福岡県、熊本県、鹿児島県であった。

また、自殺事案が発生した後の調査委員会には、ほとんどの県で医師がなんらかの形で関与していた。

日頃から教育委員会と連携した、いじめおよび自殺対策が求められるとまとめられた。

3 HPVワクチンの接種推進に係る県内大学におけるキャッチアップ集団接種の実施について（福岡県）

<提案要旨>

厚生労働省のHPVワクチンに関する調査（令和5年1月実施）では、現在の接種率の低迷の背景として、10年前に定期接種化された当時のマスコミ報道のイメージ、誤った情報・認識がまだまだ拭い去られていないことが明らかになっており、対象者あるいはその保護者の意識の変容が極めて難しいことが窺われる。そのような中、一部の大学などにおいては、キャッチアップ接種を集団接種として行い一定の効果をあげている。医療系の学部・学科を中心に、このような取組みが行われることにより、接種を受ける人たちのメリットは言うまでもなく、対象となる一般の人のHPVワクチンの安全性、信頼性のイメージが高まることが期待され、HPVワクチン接種の推進に有用であると考えている。

そこで現在、本会では、県内の医学部を有する4大学と同様の取組みを実施することや、福岡県が地元4大学の女子学生と連携したがん検診啓発「Cプロジェクト」との連携も検討すべきと考えている。

キャッチアップ接種の実施期間は令和6年度までであり、遅くとも来年秋までには1回目の接種を受ける必要があり時間的猶予はない。各県における取組み状況をお伺いしたい。

各県回答 大学で集団接種を行っているのは福岡県、熊本県、宮崎県であった。各県からは、キャッチアップ対象者を含めた接種勧奨を行っており、子宮頸がんとHPVワクチンに関する正確な情報の提供に努めているとの回答があった。

宮崎県では、県産婦人科医会、宮崎大学医学部産婦人科、宮崎市の三者の協力により、大学での集団接種や啓発活動が推進されていることが報告された。

出席者－高木常任理事、野尻課長、横山主事

九州医師会連合会第412回常任委員会

と き 令和5年11月24日(金)

ところ ホテルニュー長崎

1 開 会

2 九州医師会連合会長挨拶（長崎県森崎会長）

挨拶に引き続き、議案説明のため長崎県釣船崇仁・藤井卓委員に同席することの確認が行われた。

3 報 告

1) 九州医師会連合会事業現況について（長崎）

釣船委員から、令和5年7月1日から10月31日までの事業現況（常任委員会4回、委員総会1回、各種協議会1回など）について報告があった。

2) 九州医師会連合会歳入歳出現計について（長崎）

藤井委員から、令和5年10月31日現在の歳入歳出現況（収入済額134,818,215円、支出済額12,961,911円）について報告があった。

3) 第123回九州医師会連合会総会及び医学会関連行事について（長崎）

令和5年11月24日(金)の前日諸会議、25日(土)の合同協議会、総会・医学会、26日(日)の分科会および記念行事の概要について報告があった。

4) 第76回日本医師会設立記念医学大会における各種表彰者に対する慶祝について（長崎）

日本医師会最高優功賞（個人4名）および優功賞（個人12名）受賞者に対し祝電を送ったことが報告された。

5) 秋の叙勲等受章者に対する慶祝について（長崎）

九医連役員等慶弔規程に該当する方がいなかったことが報告された。

6) 「竹嶋康弘先生（元日本医師会副会長・元福岡県医師会会長）を偲ぶ会」への弔慰について（長崎）

九医連役員等慶弔規程に基づき弔電、供花、香典により弔意を表したことが報告された。

7) 「門田守人先生（日本医学会会長、大阪大学名誉教授お別れ会）」への弔慰について（長崎）

熊本県福田会長（九医連副会長）とも相談のうえ、弔電、供花により弔意を表したことが報告された。

4 協 議

1) 第123回九州医師会連合会総会の宣言・決議案について（長崎）

九州各県の意見を基に修正した原案を臨時委員総会に提案することが承認された。

2) 九州医師会連合会令和5年度第2回各種協議会（2月3日(土)長崎市）の開催種目について（長崎）

地域医療、医療保険、介護保険の対策協議会を開催することおよび前回と同様、各種協議会に先立って九州各県医師会勤務医担当理事連絡協議会を開催することが承認された。

3) 九州医師会連合会第20回事務局長連絡協議会の開催について（長崎）

令和6年2月9日(金)に長崎県医師会館で開催することが承認された。

5 その他

1) 全国学校保健・学校医大会について（宮崎）

10月末に神戸市で開催された連絡会議において、令和6年度は宮崎県が担当することが正式に決定したことから、あらためて「未来ある子ども達のために、いま学校医ができること」をテーマに、令和6年11月

9日(土)、宮崎市のシーガイアコンベンションセンターで開催することなどが報告された。

2) 次期日医役員の監事について（長崎）

監事選出の慣例などが確認された。

3) 次期参議院議員比例代表選挙における候補者について（長崎）

意見交換が行われた。

6 閉 会

出席者－河野会長、竹崎事務局長

医療事故調査制度

宮崎県医師会 相談窓口電話 0985-22-5118

宮崎県医師会は支援団体として、県内の医療機関をサポートいたします。医療事故の判断に迷った時、また、医療事故と判断した時は、宮崎県医師会までご連絡ください。

【受付時間】

平日の8時30分から18時、土曜日8時30分から12時30分の時間帯は、県医師会事務局の代表電話（0985-22-5118）で対応いたします。

時間外または日曜祝日などで県医師会が対応できない場合は、国が指定した東京の「医療事故調査・支援センター相談専用電話（03-3434-1110）」にご連絡ください。

【制度の目的】

本制度は医療法の「第3章医療の安全の確保」に位置づけられており、6条の11において「病院等の管理者は、医療事故が発生した場合には、厚生労働省令で定めるところにより、速やかにその原因を明らかにするために必要な調査（「医療事故調査」という）を行わなければならない」と規定されています。本制度は、医療の安全のための再発防止を目的とし、原因を調査するために、医療機関が自主的に医療事故を調査し、再発防止に取り組むことを基本としており、責任追及を目的としたものではありません。

日医インターネットニュースから

■能登北部の診療所、「8～9割機能せず」

— 日医・細川氏 —

日医で救急災害医療を担当する細川秀一常任理事は1月10日の会見で、能登半島地震の被災地に入った経験を踏まえ、現状を語った。被害の大きい半島北部では「診療所の8～9割が機能していない」と説明。今後、JMAT（日医災害医療チーム）を活用し、診療所の支援にも取り組む意向を示した。

細川氏は5～7日、JMAT先遣隊の一員として、石川県の七尾市、志賀町、穴水町などを訪問した。現地では、道路の渋滞や損壊、積雪などで移動が難しい上に、携帯電話も利用できない状況だったという。

「半島北部へのアクセスができない、連絡がつかないというのが、東日本大震災などこれまでの災害とは全く違う印象」と話した。

半島北部の診療所が機能していない背景として、断水・停電などのほか、診療所の医師が正月休みで県南部に出かけた後、自院に戻れていない状況もあるという。北部の診療所について、被災状況の全容は把握できていないとした。診療所を補助するため、診療所の下でのJMAT活動も検討していく構えだ。

●感染症拡大を懸念

課題となっている避難所の感染症対策にも言及した。断水の影響でトイレが利用できないなど、衛生面の課題が多いと指摘。「感染症がますます広がることを懸念している」と述べた。

遺体の検案も課題に挙げた。現在は、日本法医学会の医師が、警察庁の要請に基づいて対応していると説明。学会と連携し、検案に当たる医師も、JMATの一部として活動する見通しだとした。

●延べ「26隊」を派遣

被災地でのJMATの活動状況も紹介した。これまでに、延べ26隊を派遣。10日現在、七尾

市、志賀町、穴水町を中心に、19隊が活動している。

今後は、1日当たり30隊程度に拡大させる構えだ。ロジスティクス（物流管理）に特化したチームを派遣する方針も明らかにした。

細川氏は「被災地の医療・保健ニーズは、今後増加することが見込まれる。全国の医師会を挙げて、関係団体と連携を取り、JMAT活動に取り組んでいく」と強調した。

●松本会長、11日に被災地入り

日医の松本吉郎会長は、11日夜から被災地に入る予定だ。（令和6年1月12日）

■能登半島地震に対する支援金募集

— 日 医 —

日医では令和6年能登半島地震が発災したことを受けて、発災直後から「日本医師会 災害対策本部」を立ち上げ、情報収集に当たるとともに、都道府県医師会の協力の下、被災地にJMATを派遣するなど、その支援に努めています。

この活動に加えて、このたび、被災した医療機関及び地元医師会の支援を行うため、全国の医師会及び会員の先生方、国民の皆様に対して、支援金の募集をご依頼することといたしました。支援金の送付方法等につきましては、下記のとおりとなっておりますので、ご協力のほど、お願いいたします。

支援金の詳細に関しましては下記をご覧ください。

<https://www.med.or.jp/jma/009331.html>

（受付期間：令和6年1月11日～2月29日）

なお、近年、全国的に災害が増加していることに鑑み、お寄せ頂いた支援金総額と被災医療機関の総数・被災状況等を確認の上、場合によっては、支援金一部を今後の災害支援に向けた積立とさせて頂くことをご了承願います。

（令和6年1月16日）

■「議論の整理」、賃上げ対応を加筆 — 1月19日まで意見募集 —

厚生労働省は1月12日の中医協総会で、2024年度診療報酬改定に向け、これまでの議論の整理案を修正して示した。賃上げの観点も踏まえて、入院基本料、初再診料などを見直す方針を盛り込んだ。診療側、支払い側ともに、内容を了承した。

厚労省は、議論の整理を一般に周知し、19日までパブリックコメントを募集する。

10日時点の議論の整理案では、「医療従事者の人材確保や賃上げに向けた取り組み」の記述を調整中としていた。

修正案では、入院基本料などについて、40歳未満の勤務医師、事務職員などの賃上げの観点も踏まえて、見直す方針を加筆した。

▽栄養管理体制の基準の明確化 ▽人生の最終段階の意思決定支援で、指針作成の要件化 ▽身体的拘束を最小化する体制整備—の観点でも、見直すとしている。

外来の初再診料などは、職員の賃上げ、感染防止対策の必要性の観点も踏まえて、評価を見直すとした。

歯科では、医療機関の職員、歯科技工所の従事者の賃上げのほか、感染防止対策の必要性の観点も踏まえ、初再診料、歯冠修復・欠損補綴物の製作関連の評価を見直す方針だ。

他の修正では、「リハビリテーション計画提供料を廃止する」との文言を削除した。

「訪問歯科衛生指導の実態を踏まえ、歯科訪問診療料の評価を見直す」としていた記述は、歯科訪問診療料を「訪問歯科衛生指導料」に修正した。

松本真人委員（健保連理事）は、議論の整理案について、「（10日時点からの）変更点を含め、方向性が決まったわけではないということ」を前提に、支払い側として事務局案（厚労省案）を了承する」とした。「今後は、短冊（個別改定項目）に基づいて、しっかり議論させていただきたい」と述べた。

長島公之委員（日医常任理事）は、診療側を代表して、「今後、短冊で議論したいとのコメントにとどめたい」と話した。

（令和6年1月16日）

■コロナ感染増、「今後の状況を注視」 — 武見厚労相 —

武見敬三厚生労働相は1月23日の閣議後会見で、新型コロナウイルスの感染者数が昨年11月下旬から緩やかに増加しているとし、「今後の感染状況をきちんと注視していく必要がある」と述べた。

新変異株「JN.1」にも言及。世界保健機関（WHO）によると、注目すべき変異株に指定しているものの、公衆衛生上のリスクの増加につながるエビデンスは今のところないと説明。「他の変異株と比べて重症度に差がないと、今のところ報告されている」とした。

国民に対しては、「引き続き、感染症全般に関わる手洗いや消毒、咳のエチケットといった基本的な感染予防は継続していただくことをお願いしたい」と呼びかけた。

（令和6年1月26日）

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます（毎週火・金更新）。

日本医師会 (<http://www.med.or.jp/>) >メンバーズ>日医インターネットニュース

メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザ ID：会員 ID（日医刊行物送付番号）の10桁の数字（半角）

◆パスワード：生年月日の「西暦の下2桁、月2桁、日2桁」の6桁の数字（半角）

医師国保組合だより

歩こう会について（予告）

開催日時：令和6年3月17日(日) 10：00～
 場 所：フェニックス・シーガイア・リゾート（宮崎市）
 対 象 者：被保険者およびそのご家族（高齢組合員含む）
 定 員：先着60名

5年ぶりに、保健事業の一環として歩こう会を開催いたします。今回はシーガイアで「ロコモ予防体操」をメインに行います。参加ご希望の方は、組合員の先生方にお送りしております参加申込書または当組合Webサイトにてお申込みください。

保健事業のご案内

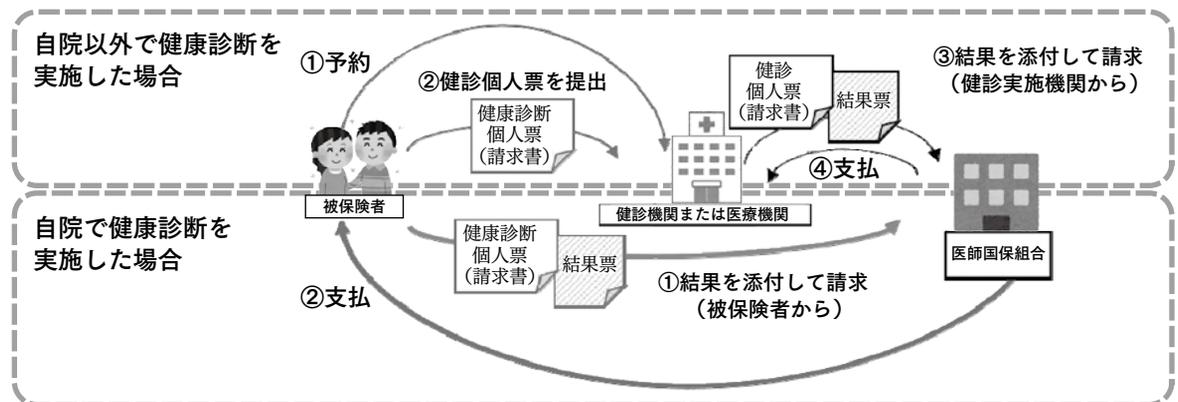
1. 健康診断（特定健診）

◆ 対象者

組合員・高齢組合員およびその配偶者（被保険者）
 上記以外の被保険者は、年度中に40歳～74歳になる方

◆ 自家健診について

健診を自院で実施した場合（自家健診）でも当組合へ費用を請求することができます。ただし、特定健診の実績となるよう、健康診断個人票（水色）の必須検査項目（★印の項目）は必ず実施してください。なお、組合員が自らに対して健診を行った場合（自己健診）は特定健診の対象とはなりませんのでご注意ください。



2. 特定保健指導

対象者には「特定保健指導利用券（無料）」をお送りします。利用券が届いた方は、ご案内に記載の実施機関にて保健指導を受けてください。

<国民健康保険 保険料納付済証明書の送付について>

確定申告の際に必要となります令和5年分国民健康保険 保険料納付済証明書について、組合員の先生方へ1月に送付いたしました。

証明書は、再発行いたしかねますので紛失しないようご注意ください。

（問合せ先）宮崎県医師国民健康保険組合
 〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地
 TEL：0985-22-6588 FAX：0985-27-6550
<http://www.miyazaki.med.or.jp/kokuho/>



【当組合Webサイト】

あなたできますか？(解答)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
e	b	c	e	d	a	a, b, e	e	c	d



女性医師の皆様へ

～宮崎県医師会では、妊娠中の医師に
マタニティ白衣・スクラブ・パンツを貸し出しています～



妊娠されている医師の方が、心地よく快適に過ごせますよう、マタニティ白衣，スクラブ，パンツをご用意いたしました。妊娠後期の短い間の着用ですが，どうぞご利用ください。

医師会員でなくてもお申込みできますので，どうぞお気軽にお問い合わせください。

詳しくは，宮崎県医師会ホームページ
(<http://www.miyazaki.med.or.jp/>) をご覧ください。



お問い合わせ先

宮崎県医師会 地域医療課

TEL 0985-22-5118

FAX 0985-27-6550





令和5年12月5日(火) 第9回常任理事協議会

医師会関係
(議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について

①宮崎県障がい者虐待防止・権利擁護連絡会議における委員の推薦について

→障がい者の虐待防止及び権利擁護を推進するために設置される連絡会議の委員の任期満了による推薦依頼があり、引き続き石川常任理事を推薦することが承認された。

②宮崎県高齢者虐待防止連絡会議における委員の推薦について

→高齢者虐待防止対策を総合的に推進するとともに、関係機関の連携等を図るために設置されている連絡会議の任期満了による委員の推薦依頼があり、引き続き石川常任理事を推薦することが承認された。

2. R6.2/3(土)(長崎)「九州医師会連合会第413回常任委員会及び令和5年度第2回各種協議会」並びに「九州各県医師会第2回勤務医担当理事連絡協議会」の開催について
常任委員会については、河野会長が出席することが承認され、議題があれば事務局経由で会長に提出し、取扱いについては会

長に一任することが承認された。各種協議会については、提案事項の取りまとめ等の担当として、地域医療対策協議会は金丸常任理事、医療保険対策協議会は嶋本常任理事、介護保険対策協議会は石川常任理事が務めること、出席者については、後日事務局から照会し回答することが承認された。勤務医担当理事連絡協議会については、提案事項の取りまとめ等の担当を田畑理事が務めること、出席者については、後日事務局から照会し回答することが承認された。

3. R6.2/17(土)(県立宮崎病院)令和5年度HIV・エイズ対策講習会について

地域の医療機関の医師、医療従事者等を対象に開催される講習会で、エイズ治療中核拠点病院である県立宮崎病院及び宮崎県と共催をすること、医療機関への案内等に協力することが承認された。

4. 令和6年度「お医者さんの健康コラム」執筆協力をお願い

主に女性及びファミリー層向けに毎月2回発行している生活情報誌の「お医者さんの健康コラム」に、専門分科医会等の協力を得ながら、執筆に協力することが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について
2. 11月末日現在の会員数について
3. 12/3(日)(日医)全国有床診療所連絡協議会常任委員会・役員会について
4. 12/3(日)(日医)「有床診療所の日」記念講演会(都道府県医師会有床診療所担当理事連絡協議会)について
5. 12/3(日)(日医)日医有床診療所委員会について
6. 12/5(火)(県防災庁舎)物価高騰支援金等に関する要望について
7. 12/2(土)(県医)生活習慣病検診従事者研修会(肺・乳・胃・大腸がん検診研修会)

について

8. 12/4(月) (日医) 国民医療を守るための総決起大会について
9. 12/3(日) (県医) 人体シミュレータを用いた在宅医療研修会について
10. 12/1(金) (東京) 世界医師会ヘルシンキ宣言大洋州地域専門家会議について
11. 12/2(土) 日医家族計画・母体保護法指導者講習会について
12. 11/29(水) (宮崎労働局) 労災診療指導委員会について

医師連盟関係

(議決事項)

1. R6.1/30(火) (日医) 日本医師連盟執行委員会の開催について
河野委員長と吉田常任執行委員が出席することが承認された。

(報告事項)

1. 12/5(火) (東京) 自民党議員連盟「国民医療を守る議員の会」総会について

6. 12/8(金) 県感染症危機管理研修会・予防接種従事者研修会について
7. 12/11(月) (県医) 自殺対策うつ病研修会について
8. 12/7(木) (県防災庁舎) 県地域医療対策協議会について
9. 12/7(木) (県医) 県地域医療・福祉推進協議会代表者会について
10. 12/9(土) (アートホテルスカイタワー) 病院部会・医療法人部会合同研修会について
11. 12/9(土) (県医) ひむか性教育シンポジウムについて
12. 12/1(金) (県医) HTLV-1母子感染対策事業研修会について

医師連盟関係

(議決事項)

1. R6.1/9(火) (宮観ホテル) 「2024新春の集い」のご案内について
出席を希望する役員は事務局を經由して河野委員長に申し出ることとなった。

令和5年12月12日(火) 第17回全理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 宮崎大学白菊会運営支援のお願いについて
献体登録者の会である宮崎大学白菊会から運営資金に対する援助依頼があり、例年同様、県医師会会員への募集案内等に協力することが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について
2. 12/6(水) (日医) 日医地域医療対策委員会について
3. 12/1(金) 県医中間監事監査について
4. 12/6(水) 広報委員会について
5. 12/11(月) (福岡) 九州地方社会保険医療協議会総会について

令和5年12月26日(火) 第18回全理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 会費減免申請について
高齢による日医・県医会費減免1名、高齢による県医会費減免1名、高齢による日医会費減免4名の申請が承認された。
2. 本会外の役員等の推薦について
①宮崎県肝炎治療認定審査会委員の推薦について
→肝炎治療特別促進事業の適正かつ円滑な実施を図ることを目的とした審査会委員の任期満了に伴う推薦依頼があり、現委員2名を引き続き推薦することが承認された。

②肝炎対策懇話会委員の推薦について

→肝疾患治療関連の地域連携体制の整備を目指す懇話会で、委員の任期の定めがなく現在は小牧副会長が就任をしているが、担当を交代し赤須常任理事を推薦することが承認された。

3. 厚生功労に係る令和6年秋の叙勲及び褒章候補者の推薦について

1名を推薦することが承認された。

4. R6.5/25(土)九州ブロック日医代議員(含・次期)連絡会議における日医各種委員会の報告希望委員会について

報告を聞きたい日医委員会があれば事務局に提出し、取扱いについては会長一任とすることが承認された。

5. 令和6年度の特健康診査等の集合契約書に係る提案について

令和5年度は診療報酬改定は行われなかったため、令和4年度の改定を踏まえた委託料単価(基本的な健診項目9,251円,貧血検査231円,心電図検査1,430円,眼底検査1,232円,血清クレアチニン及びeGFR 121円)で、令和6年4月1日の契約締結に向け準備を進めることが承認された。

6. R6.1/18(木)(県防災庁舎)九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の新規個別指導の実施に係る立会いについて

3医療機関を対象に行われる新規個別指導で、上山理事を立会人として派遣することが承認された。

7. R6.1/18(木)(県防災庁舎)九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の個別指導の実施に係る立会いについて

1医療機関を対象に行われる個別指導で、上山理事を立会人として派遣することが承認された。

8. R6.2/18(日)(日医)令和5年度母子保健講習会の開催について

地域医療における母子保健活動を円滑に実施するために必要な知識を修得するための研修会で、高木常任理事と嶋本常任理事の出席が承認された。また、上山理事が県産婦人科医会から出席することが報告された。

9. R6.2/23(金・祝)(日医)令和5年度都道府県医師会「警察活動協力医会」連絡協議会・学術大会の開催について

各都道府県医師会の警察活動に協力する医師の部会の連携と日医や関係省庁との情報共有等を図ることを目的に開催される会で、玉置理事の出席と県警察医会から1名の出席が承認された。

10. 1・2月の行事予定について(報告事項)**1. 週間報告について****2. 12/13(水)(支払基金)支払基金審査運営協議会について****3. 12/19(火)(県医)日医理事会等について****4. 12/21(木)(県防災庁舎)県医療審議会について****5. 12/22(金)(都城グリーンホテル)都城市北諸県郡医師会忘年会について****6. 12/20(水)(県防災庁舎)県保険者協議会について****7. 12/14(木)(県医)都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会について****8. 12/14(木)(県医)広報委員会について****9. 12/18(月)(県庁)県デジタル社会推進協議会について****10. 12/15(金)~17(日)(シーガイア)指導医のための教育ワークショップについて****11. 12/18(月)(宮大医学部)宮大医学部地域枠全体ミーティングについて****12. 12/13(水)(日医)日医医療秘書認定試験委員会について**

13. 12/18(月) (県医) 県認知症疾患医療センター合同会議について
14. 12/26(火) (県医) 県・市町村との妊婦健診等に関する協議会について
15. 12/26(火) (九州厚生局宮崎事務所) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について
16. 12/12(火) (エンシティホテル延岡) 延岡市医師会会員忘年会について
17. 12/21(木) (県防災庁舎) 社会保険医療担当者の新規個別指導について
18. 12/10(日) (日医) 都道府県災害医療コーディネーター研修について
19. 12/14(木) (県庁) 地方公務員災害補償基金宮崎県支部審査会について
医師連盟関係
(議決事項)
1. R6. 1/13(土)九州医連連絡会第34回常任執行委員会の開催について
河野委員長が出席することが承認され、議題があれば事務局に提出し、取扱いについては会長一任とすることが承認された。

1月のベストセラー (宮崎県)

集計：2024年1月1日～1月24日

1	変な家2	雨	穴	飛鳥新社
2	あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。	汐	見 夏 衛	スターツ出版
3	変な家	雨	穴	飛鳥新社
4	すべての恋が終わるとしても140字のさよならの話	冬	野 夜 空	スターツ出版
5	恋か隠居か 新・酔いどれ小藤次(二十六)	佐	伯 泰 英	文春文庫
6	今日、誰のために生きる？	ひ	す い こ た ろ う	廣済堂出版
7	ブラック・ショーマンと名もなき町の殺人	東	野 圭 吾	光文社文庫
8	新版 科学がつきとめた「運のいい人」	中	野 信 子	サンマーク出版
9	変な絵	雨	穴	双葉社
10	人間標本	湊	かなえ	角川書店

明林堂書店調べ 提供：本郷店 (宮崎市大字本郷北方) ☎ (0985) 56-0868

県 医 の 動 き

(1月)

4	新年賀詞交歓会（会長） 仕事始め式（会長）	22	県蚊媒介感染症対策会議（峰松理事） 県ロコモティブシンドローム対策協議会 （Web会議）（大塚常任理事） 県医療審議会（会長他） 広報委員会（荒木常任理事他） 医師国保組合定例事務監査（秦理事長他）
6	三師会合同新春懇談会（会長他）	23	日医能登半島地震災害対策本部会議（Web会議）（会長他） 改正感染症法等に基づく協定に関する説明会 （都道府県医師会感染症医療提供体制担当理事 連絡協議会）（Web会議）（山村副会長他） 医協理事会（河野理事長他） 医協理事・運営委員合同協議会（河野理事長他） 第20回全理事協議会（会長他）
9	日医能登半島地震災害対策本部会議 （Web会議）（会長他）	24	宮大経営協議会・学長選考・監察会議（会長） 県がん対策審議会（会長）
10	県高齢者サービス総合調整推進会議 （石川常任理事） 県性暴力被害者支援に係る意見交換会 （上山理事）	25	日医財務委員会（Web会議）（会長） 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 （嶋本常任理事） 県循環器病対策推進協議会（金丸常任理事） スポーツドクター連盟総会（Web会議） （大塚常任理事） 健康スポーツ医学セミナー（Web会議）（会長他）
11	県医療審議会医療計画部会（山村副会長他） 県産婦人科医会常任理事会（Web会議） （嶋本常任理事他）	26	県訪問看護ステーション連絡協議会管理者向け 研修会（鹿児島）日医医師会共同利用施設検討委員会 （市来常任理事） 県個人情報保護審議会（荒木常任理事） 県外科医会理事会（Web会議）（田畑理事） 医師国保組合理事会（秦理事長他）
12	県感染症対策連携協議会（山村副会長他） 宮崎市郡医師会新年例会（会長）	27	緩和ケアチーム研修会（Web会議） （石川常任理事） 産業医研修会（TV会議） （福岡）日医未来医師会ビジョン委員会 （大塚常任理事）
13	九州医連絡会常任執行委員会（Web会議） （河野委員長） 九医連常任委員会（Web会議）（会長）	28	（福岡）日医未来医師会ビジョン委員会 （大塚常任理事） かかりつけ医等発達障害対応力向上研修会 （Web会議）（高木常任理事）
14	人体シミュレータを用いた在宅医療研修会 （石川常任理事）	29	県医療的ケア児等支援部会（石川常任理事他）
15	広報委員会（荒木常任理事他）	30	（日医）日医監事会（会長） （日医）日医理事打合会（会長） （日医）日医理事会（会長） （日医）都道府県医師会会長会議（会長） （日医）日医連執行委員会（河野委員長他） （日医）災害対策支援の会（会長他） 病院部会・医療法人部会合同理事会 （池井常任理事他） 県臨床研修・専門研修運営協議会ワーキング グループ（Web会議）（金丸常任理事）
16	日医能登半島地震災害対策本部会議（Web会議） （会長他） 第19回全理事協議会（Web会議）（会長他）	31	県高齢者虐待防止連絡会議（石川常任理事） 県医療的ケア運営協議会（高木常任理事） 労災診療指導委員会（赤須常任理事他） 県健康づくり推進協議会（山村副会長）
17	県後期高齢者医療広域連合運営懇話会 （石川常任理事） 都道府県医師会学校保健担当理事連絡協議会 （Web会議）（小牧副会長他） 支払基金審査運営協議会・懇談会（会長）		
18	社会保険医療担当者の新規個別指導（上山理事） 日医医療経営検討委員会（Web会議） （吉田常任理事） 社会保険医療担当者の個別指導（上山理事） 医師クランク育成・スキルアップ研修会 （Web会議） 勤務医部会理事会（Web会議）（山村副会長他） 勤務医部会後期講演会（Web会議） （山村副会長他）		
19	（日医）日医勤務医委員会（金丸常任理事）		
20	日本プライマリ・ケア連合学会九州支部総 会・学術大会（宮崎）（Web会議）（玉置理事） 九州各県内科医会会長会議（Web会議）		
21	日本プライマリ・ケア連合学会九州支部総 会・学術大会（宮崎）（Web会議）（玉置理事）		

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

令和6年1月4日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク（求人・求職等の情報提供）を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み・お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 7人

希望診療科目	求職数	常 勤	非常勤
内 科	3	1	2
産 婦 人 科	1	0	1
検 診	2	0	2
老 健	1	0	1

2. 斡旋成立件数 95人

	合 計
令和5年度(4/1～1/4)	5
平成16年度から累計	95

3. 求人登録 100件 277人

(人)

募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤	募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤
内 科	87	66	21	消 化 器 外 科	3	2	1
外 科	22	19	3	乳 腺 外 科	2	2	0
整 形 外 科	20	17	3	健 診	3	3	0
精 神 科	12	10	2	泌 尿 器 科	2	2	0
脳 神 経 外 科	2	2	0	産 婦 人 科	0	0	0
循 環 器 科	13	10	3	検 診	0	0	0
消 化 器 内 科	24	18	6	皮 膚 科	0	0	0
麻 酔 科	4	4	0	婦 人 科	1	1	0
眼 科	9	6	3	呼 吸 器 外 科	0	0	0
放 射 線 科	9	9	0	人 工 透 析	11	7	4
小 児 科	3	2	1	リウマチ科	0	0	0
呼 吸 器 科	0	0	0	臨 床 病 理 科	0	0	0
在 宅 診 療	2	2	0	形 成 外 科	0	0	0
総合診療科・内科	11	7	4	診 療 科 目 不 問	5	2	3
脳 神 経 内 科	2	2	0	緩 和 ケ ア	0	0	0
呼 吸 器 内 科	11	7	4	内 分 泌 糖 尿 病 内 科	6	4	2
リハビリテーション科	4	3	1	そ の 他	2	2	0
救 命 救 急 科	7	4	3	合 計	277	213	64

求人登録者(公開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	宮崎県赤十字血液センター	宮崎市	不問	1	非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	脳外,神内,リハ,整,循内	5	常勤
160017	医)宮崎博愛会 さがら病院宮崎	宮崎市	乳外,放,麻	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮崎市	精	1	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮崎市	内,外,整	4	常勤・非常勤
170048	社医)慶明会 けいめい記念病院	国富町	内	1	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内,神内,整,消内,腫内,放	6	常勤
190087	公社)宮崎市郡医師会病院	宮崎市	消内,呼内,総診	5	常勤
190094	社医)耕和会 迫田病院	宮崎市	内,外	2	常勤
190095	社医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	1	常勤
200104	社医)善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	救急,消内,糖内,外,整,婦人	12	常勤・非常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮崎市	外,内,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
230139	社福)介護老人保健施設 サンプローラみやざき	国富町	内,外	2	常勤
230144	生協)宮崎生協病院	宮崎市	消内,腎内,透,循内,呼内,内,健診	13	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団潤和会記念病院	宮崎市	整,脳外,緩和,救急	4	常勤
230148	医)コムロクリニック	宮崎市	美外	1	常勤
230161	医)健心会 滝口内科医院	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
230164	宮崎県保健所	宮崎市	公衆衛生	1	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮崎市	内,消内,消外,放	2	常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮崎市	整,内	2	常勤
230194	医)財団シロアム会 新城眼科医院	宮崎市	眼	2	常勤・非常勤
230196	医)社団高信会 辰元病院	宮崎市	内	1	常勤
230209	財)弘潤会 野崎東病院	宮崎市	内	1	常勤
230213	医)聖美会 南宮崎ヤマモト腎泌尿器科	宮崎市	泌,内,透(いずれか)	1	常勤
230214	医)聖美会 青島リゾートクリニック	宮崎市	内,リハ(いずれか)	1	常勤
230215	医)社団紘和会 平和台病院	宮崎市	糖内,消内	3	常勤
230217	医)けいあい かいクリニック	宮崎市	内,整	4	常勤・非常勤
230220	医)社団 宮崎医療センター病院	宮崎市	総診	1	常勤
230224	医)雅会 河野整形外科	宮崎市	内	1	非常勤
230227	マナビヤ在宅クリニック「un」	宮崎市	不問	3	常勤・非常勤
230230	医)りっか会 ピア・ささき病院	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
230231	認N)ホームホスピス宮崎	宮崎市	内	1	非常勤
230233	独)宮崎江南病院	宮崎市	呼内,総診,糖内	6	非常勤
230235	医)青葉会 のざきクリニック	宮崎市	内	1	常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都城市	内	1	常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都城市	整,消内	2	常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都城市	内,整,訪診	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都城市	消内	1	常勤
190092	一社)都城市郡医師会病院	都城市	内,呼内,消内	6	常勤
210114	一社)藤元メディカル藤元病院	都城市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都城市	内,消内,消外,乳外,麻,緩和	6	常勤・非常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都城市	内	1	常勤
230162	一社)藤元メディカル藤元総合病院	都城市	内,循内,救急,呼内,放	10	常勤
230179	医)与州会 柳田病院	都城市	外	1	常勤
230181	医)社団牧会 介護老人保健施設はまゆう	三股町	内	1	常勤
230192	医)社団明晴会 速見泌尿器科内科医院	都城市	腎内	1	常勤・非常勤
230199	医)社団アブラハムクラブ ベテスダクリニック	都城市	糖内,心内	2	常勤

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
230208	医) 社団樺の葉 ホームクリニックみまた	三股町	内	1	常勤・非常勤
230216	一社) 藤元メディカルシステム大悟病院	三股町	精,内	2	常勤
230225	医) 社団明恵会 早水公園クリニック	都城市	内	2	常勤・非常勤
230226	一社) 都城健康サービスセンター	都城市	放,消内 (いずれか)	1	常勤
160012	医) 伸和会 延岡共立病院	延岡市	整,内	3	常勤
160021	医) 建悠会 吉田病院	延岡市	精	1	常勤
160034	医) 健寿会 黒木病院	延岡市	消外,消内,健診	3	常勤
190086	医) 早田病院	延岡市	消内,循内	2	常勤
200100	医) 育生会 井上病院	延岡市	小	1	常勤
200102	一社) 延岡市医師会病院	延岡市	内,消内,消外,放	4	常勤
210109	一社) 延岡市夜間急病センター	延岡市	内,小	2	非常勤
230186	医) 隆誠会 延岡保養園	延岡市	精,内	2	常勤
230189	特医) 健腎会 おがわクリニック	延岡市	泌,透	2	常勤
230203	医) 杉杏会 杉本病院	延岡市	内	1	非常勤
230210	医) あつきこころ 大貫診療所	延岡市	内,外 (いずれか)	1	常勤
230219	財) 延岡リハビリテーション病院	延岡市	内,整,リハ	3	常勤
160039	医) 誠和会 和田病院	日向市	外	2	常勤
210111	福) 恩賜財団宮崎県済生会 日向病院	門川町	内,外,リハ	3	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美郷町	内,整	3	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美郷町	内,整	2	常勤
230200	医) おざきメディカルアソシエイツ 尾崎眼科	日向市	眼	1	常勤・非常勤
230201	医) 洋承会 今給黎医院	日向市	内,循内,呼内,糖内	4	非常勤
230232	医) 社団弘文会 松岡内科医院	日向市	透	1	非常勤
160023	医) 宏仁会 海老原総合病院	高鍋町	内,外,麻,健診	4	常勤・非常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川南町	総診,救急,呼内,循内,神内,整	12	常勤・非常勤
230223	医) 聖山会 川南病院	川南町	内,腎内	3	常勤
160024	医) 隆徳会 鶴田病院	西都市	内,外,整,総診,透,循内	6	常勤
230204	医) 昇山会 上山医院	西都市	内,整 (いずれか)	1	非常勤
230234	社医) 暁星会 三財病院	西都市	内	1	常勤
150002	社医) 慶明会 おび中央病院	日南市	内,リハ	3	常勤・非常勤
160022	医) 愛鍼会 山元病院	日南市	内	1	常勤
160037	医) 十善会 県南病院	串間市	精,内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日南市	内,外,整,在宅,眼	5	常勤
180071	串間市民病院	串間市	内,外,総診,消内,腎内,呼内	6	常勤
230149	社医) 介護老人保健施設 おびの里	日南市	内	1	常勤
230188	医) 春光会 春光会記念病院	日南市	内,整	4	常勤・非常勤
230211	医) 秀英会 介護老人保健施設長寿の里	串間市	不問	1	常勤
230221	医) 文誠会 百瀬病院	日南市	内,外,消内	6	常勤・非常勤
230222	宮崎県立日南病院	日南市	消内	2	常勤
160019	医) 相愛会 桑原記念病院	小林市	循内,内,外	4	常勤・非常勤
170043	医) 和芳会 小林中央眼科	小林市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小林市	放,内,総診,麻	6	常勤
180076	医) けんゆう会 園田病院	小林市	外,内,総診	6	常勤・非常勤
190091	医) 友愛会 野尻中央病院	小林市	内,眼	3	常勤・非常勤
230167	医) 介護老人保健施設 さわやかセンター	小林市	内	1	非常勤
230169	医) 連理会 和田クリニック	小林市	内	1	常勤
230197	医) 友光会 整形外科押領司病院	小林市	整,内,循内	3	常勤・非常勤
230218	医) 養気会 池井病院	小林市	腎内	1	常勤
230229	国民健康保険高原病院	高原町	内	1	非常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国民健康保険病院	高千穂町	内,眼,小	3	常勤
190088	日之影町国民健康保険病院	日之影町	内,外 (いずれか)	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡、賃貸希望の物件を紹介いたします。

令和6年1月4日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番,2634番 土地のみ：2,022.17㎡ (612.77坪)	所有者：児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地：2,280.83㎡ (691.16坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ 2階 547.79㎡ 3階 177.95㎡ 計 1,400.48㎡ (424.38坪) ※別途駐車場あり (20台)	所有者：西都市西児湯医師会員 函師医院跡
2. 譲渡又は賃貸物件	① 児湯郡川南町大字平田1402-74 土地：4,449㎡ (1,348.18坪) 建物：鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡ (250.20坪) ※駐車場あり (70台)	所有者：児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
3. 賃貸物件	① 延岡市無鹿町1丁目710 土地：1,654.58㎡ (501.38坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ 2階 338.70㎡ 3階 330.69㎡ 4階 14.25㎡ 計 829.40㎡ (251.33坪) ※駐車場あり (50台)	所有者：(医) 社団 隆豊会 江崎医院跡
	② 西臼杵郡高千穂町大字上野264番地 土地：875㎡ (265.15坪) 建物：木造瓦葺平屋建 1階 114㎡ (34.54坪) ※駐車場あり (20台)	所有者：西臼杵郡医師会員 後藤医院跡

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

- 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し、求職者は県外でも結構です。
- 紹介受付は、月～金の9時～12時及び13時～17時です。
- 申込み方法は、所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
- ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
- 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
- 斡旋成立時の紹介料は、「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 (宮崎県医師協同組合)

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail : isikyout@miyazaki.med.or.jp

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E-mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX : 0985-27-6550

きりとりせん

お名前：

ご所属：

TEL：

FAX：

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和6年1月26日

2		月				
1	木	14:00 宮大医学部医の倫理委員会 15:00 県看護協会新人看護職員研修推進協議会	16	金	14:00 (日医) 都道府県医師会事務局長連絡会 18:00 県地域医療対策協議会 19:00 衆議院議員たけい俊輔国政報告会 20:30 田村憲久衆議院議員との意見交換会	
2	金	14:00 県防災会議 18:30 県糖尿病・慢性腎臓病対策検討会	17	土	12:50 レジナビFairオンライン宮崎 県2024臨床研修プログラム 15:30 (福岡)九州地区医師国保組合連合会理事会 16:20 (福岡)九州地区医師国保組合連合会全体協議会	↑
3	土	14:00 (長崎)九州各県医師会勤務医担当理事連絡協議会 15:00 県産婦人科医会冬期定時総会・講演会(Web会議) 16:00 (長崎)九医連各種協議会 16:00 (長崎)九医連常任委員会 16:00 自賠責保険研修会(Web会議) 18:10 (長崎)九医連各種協議会報告会	18	日	10:00 県民健康セミナー(Web会議) 12:30 (日医)母子保健講習会	
4	日	13:00 日医医療秘書認定試験	19	月	16:00 九州各県学校保健会長及び学校保健担当者連絡会(Web会議) 19:00 外国人患者対応に関する研修会(Web会議)	国保審査
5	月	18:30 介護保険に関する主治医研修会(Web会議)	20	火	10:00 日医監事会 12:00 日医役員勉強会 13:00 日医理事打合せ 14:00 日医理事会	
6	火	19:00 第10回常任理事協議会	21	水	13:00 全国学校保健・安全研究大会準備委員会 19:00 医療機関税制Webセミナー(Web会議)	↓
7	水	18:30 県肝炎対策懇話会 19:00 全国学校保健・学校医大会シンポジウム打合せ会(Web会議)	22	木	19:00 広報委員会 19:00 医師国保組合理事会	
8	木	14:00 日医年金委員会(Web会議) 14:00 県ナースセンター事業運営委員会 15:30 県精神科救急医療システム連絡調整委員会 15:30 地方公務員災害補償基金宮崎県支部審査会 16:00 日医有床診療所委員会(Web会議) 19:00 高次脳機能障がい講演会(Web会議) 19:00 県産婦人科医会常任理事会(Web会議) 19:00 医師の働き方改革Web研修会(Web会議)	23	金	(天皇誕生日) 13:30 (日医)都道府県医師会警察活動協力医会連絡協議会・学術大会	社保審査
9	金	16:00 (長崎)九医連事務局長連絡協議会 16:00 県知事と県経済団体協議会との意見交換会 19:00 認知症サポート医・かかりつけ医スキルアップ研修会(Web会議)	24	土	16:40 県内医師会病院連絡協議会	
10	土		25	日	15:45 医神祭 16:00 創立135周年記念医学会(Web会議)	↓
11	日	(建国記念の日)	26	月		
12	月	(振替休日)	27	火	18:00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 18:30 医協理事会 19:00 医協理事・運営委員合同協議会(Web会議) 終了後 第22回全理事協議会(Web会議)	
13	火	18:30 第21回全理事協議会 19:00 各郡市医師会長協議会	28	水	15:00 労災診療指導委員会 16:00 宮崎産業保健総合支援センター運営協議会	
14	水	13:30 県MC協議会総会 16:00 支払基金審査運営協議会 19:00 広報委員会	29	木	14:00 日医地域包括ケア推進委員会 19:00 未来の医療を語るオールみやざき交流会 19:00 県内科医会理事会(Web会議)	
15	木	14:00 県保険者協議会 14:00 社会保険医療担当者の個別指導 14:30 全国学校保健・学校医大会引継会(Web会議) 15:00 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会(Web会議) 15:30 (日医)日医医療秘書認定試験委員会				

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。

宮崎県医師会行事予定表

令和6年1月26日

3		月	
1	金		15 金 13:30 宮大経営協議会 18:30 県外科医会冬期講演会
2	土	9:00 ICLS指導者養成ワークショップ 12:00 (日医)日医医療情報システム協議会 14:55 県産婦人科医会ひむかセミナー (Web会議) 16:00 病院部会・医療法人部会医療従事者研修会	16 土 13:00 日医医療事故調査制度に係る支援団体統括者セミナー (Web会議) 14:00 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会設立記念講演会 (Web会議) 15:00 母体保護法指定医師研修会 (Web会議) 16:00 (福岡)九医協連購買・保険部会
		8:30 ACLS研修会 9:00 県産婦人科医会ひむかセミナー (Web会議) 10:00 (日医)日医医療情報システム協議会 12:00 (東京)全国有床診療所連絡協議会常任理事会	
3	日		17 日 9:00 (日医)日医JMAT研修(ロジスティクス編) 10:00 医師国保組合歩こう会
		14:00 都道府県医師会特定健診・特定保健指導連絡協議会(Web会議) 19:00 県小児科医会役員会(Web会議)	
4	月		18 月 19:00 広報委員会
5	火	18:15 県公害健康被害認定審査会 19:00 第11回常任理事協議会	19 火 10:00 日医監事会 11:00 日医役員勉強会 13:00 日医理事打合せ 14:00 日医理事会
		19:00 JMAT-JRAT合同研修会(Web会議)	
7	木	14:00 宮大医学部医の倫理委員会 17:30 県アイバンク協会理事会 (Web会議) 19:00 医師国保組合通常組合理事会	20 水 (春分の日)
		14:30 県がん診療連携協議会(Web会議) 16:00 (福岡)全国国保組合協会九州支部総会	21 木 19:00 県医医学会役員会(Web会議)
8	金	14:30 県がん診療連携協議会(Web会議) 16:00 (福岡)全国国保組合協会九州支部総会	22 金 19:00 県外科医会理事会 19:00 特定健康診査等従事者研修会(Web会議)
		13:30 臨床検査精度管理調査報告会 (Web会議)	23 土
10	日	9:00 人体シミュレータを用いた小児在宅医療実技講習会	24 日 10:00 (日医)日医診療所における新興感染症対策研修
11	月	18:00 医師クラーク育成・スキルアップ研修会(Web会議) 19:00 県内科医会評議員会(Web会議)	25 月 19:00 県臨床研修・専門研修運営協議会(Web会議)
		19:00 第1回理事会 終了後 第23回全理事協議会	
13	水	16:00 支払基金審査運営協議会 19:00 産業医研修会(実地)	26 火 18:00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 18:30 医協理事会 19:00 医協理事・運営委員合同協議会 終了後 第24回全理事協議会(Web会議)
		19:00 広報委員会 19:00 県産婦人科医会全理事会 (Web会議) 19:00 県リハビリテーション専門職協議会連絡会議	
14	木		27 水 15:00 労災診療指導委員会
			28 木
14	木		29 金
			30 土 16:00 (東京)全国医師会医療秘書学院連絡協議会常任委員会・運営委員会
			31 日 9:30 (日医)日医臨時代議員会

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会 (胃)・(大腸)・(肺)・(乳)

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
第181回宮崎心臓 病研究会 (Web講習会) 2月1日(木) 19:00~20:20 宮崎観光ホテル ※受講は現地また はWeb	ACS治療における脂質治療早期介入の意義 ～近年のエビデンスから考察する～ 浦添総合病院 副院長 循環器内科部長 上原 裕規	75 (0.5)	◇主催 宮崎心臓病研究会 ◇共催 アムジェン(株) アステラス製薬(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-77-9101
	劇症型心筋炎における適切な補助循環管理法 国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門冠疾患科 医長 浅海 泰栄	75 (0.5)	
日向市東臼杵郡医 師会学術講演会 (Web講習会) 2月2日(金) 18:50~20:30 ホテルベルフォー ト日向 ※受講は現地また はWeb	SpPinな身体所見～腎性貧血患者の管理を中心に～ 大船中央病院 内科 教育研修部 部長 須藤 博	73 (1.5)	◇主催 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222 ◇共催 鳥居薬品(株)
宮崎県医師会産業 医研修会 2月2日(金) 19:00~21:00 宮崎県医師会館	事業場におけるストレスと精神障害(2) 産業保健相談員 ウエダメンタルクリニック 院長 植田 勇人 生涯研修の専門研修会：2単位	69 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
【7/21延期分】 延岡医学会学術講演会 (Web講習会) 2月2日(金) 19:00~20:10 エンシティホテル 延岡 ※受講は現地またはWeb	間質性肺疾患の診断と最近の治療(当院の症例も踏まえて) 宮崎県延岡病院 内科 (呼吸器内科) 医長 天神 佑紀	45 (1.0)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 日本ペーリンガーインゲルハイム(株) (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
令和5年度宮崎県 医師会労災部会自 賠責保険研修会 (Web講習会) 2月3日(土) 16:00~18:00 宮崎県医師会館 ※受講は現地またはWeb	医療機関が対策すべき自賠責保険を巡る諸問題と具体的対策について 宮崎県医師協同組合顧問弁護士 弁護士法人きさらぎ代表弁護士 高山 桂	6 (1.0)	◇主催 宮崎県医師会 ◇共催 ※宮崎県医師会労災部会 ☎0985-22-5118
	交通事故診療の論点 やました整形外科 日本臨床整形外科学会自賠労災員会アドバイザー 山下 仁司	6 (1.0)	
第205回宮崎県眼科医会講習会 2月3日(土) 16:30~19:00 宮崎観光ホテル東館2階「紅日向の間」 参加費:3,000円	長期化する緑内障治療の治療選択 東京大学医学部 眼科学教室 准教授 本庄 恵	36 (1.0)	◇主催 ※宮崎県眼科医会 ☎0985-28-1015 ◇共催 千寿製薬(株)
	黄斑部疾患の外科的治療のUpdate 横浜市立大学医学研究科 視覚再生外科学教室 教授 門之園 一明	36 (1.0)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
研究倫理・臨床倫理講演会 2月6日(火) 17:00~18:30 宮崎大学医学部附属病院臨床講義室205	患者・市民の理解に基づく臨床研究のあり方 東京医科歯科大学 生命倫理研究センター 遺伝子診療科 センター長・科長 吉田 雅幸 専門医共通講習－医療倫理：1単位	3 (1.0)	◇主催 ※宮崎大学医学部附属病院 ☎0985-85-1864
宮崎県医師会産業医研修会 2月6日(火) 19:00~21:00 都城市北諸県郡医師会館	この一年間(令和5年)の産業保健の動向 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 矢崎 武 生涯研修の更新研修会：2単位	6 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
佐土原地区医師会学術講演会 (Web講習会) 2月7日(水) 19:00~20:00 シーガイアコンベンションホール ※受講は現地またはWeb	症例ごとの最適な糖尿病治療を目指して 宮崎大学医学部 内科学講座 血液・糖尿病・内分泌内科学分野 講師 上野 浩晶	76 (1.0)	◇主催 佐土原地区医師会 ◇共催 ※住友ファーマ(株) ☎080-3341-4066
西諸医師会・西諸内科医会合同学術講演会 (Web講習会) 2月9日(金) 19:00~20:00 KITTO小林 ※受講は現地またはWeb	地域で診る心臓病：診療科の垣根を超えた初期スクリーニング その2～静かなる心不全予備軍を見つけるために 宮崎大学医学部 機能制御学講座 循環動態生理学分野 教授 渡邊 望	15 (1.0)	◇主催 ※西諸医師会 ☎0984-22-1331 ◇共催 西諸内科医会 第一三共(株)

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
延岡医学会学術講演会～CKDとCKD-MBDを考える～ (Web講習会) 2月9日(金) 19:00～20:15 キャトルセゾン・マツイ3階 ※受講は現地またはWeb	Calcimimetics注射製剤を用いた管理の利点 埼玉石心会病院 腎臓内科 部長 さやま腎クリニック 院長 池田 直史	73 (1.0)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 小野薬品工業(株) (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
西臼杵郡医師会学術講演会 2月9日(金) 19:00～20:20 高千穂町国民健康病院会議室	腎血行動態から考える高血圧治療～ARNIへの期待～ 順天堂大学 医学研究科 腎臓内科学講座 准教授 木原 正夫	74 (1.0)	◇主催 西臼杵郡医師会 ◇共催 ※ノバルティスファーマ(株) ☎0120-985-101 大塚製薬(株)
日向市東臼杵郡医師会学術講演会 (Web講習会) 2月13日(火) 19:00～20:25 宮崎県 ※受講はWebのみ	腎症を合併した2型糖尿病の新しい治療戦略 順天堂大学 医学研究科 腎臓内科学 先任准教授 合田 朋仁	63 (0.5)	◇主催 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222 ◇共催 日向市東臼杵郡薬剤師会 第一三共(株)
	糖尿病性神経障害と向き合う ～病態・病期を考慮した診療～ 鹿児島大学病院 総合臨床研修センター 特例准教授 出口 尚寿	76 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
宮崎県医師会産業 医研修会 2月14日(水) 19:00~21:00 宮崎県医師会館	この一年間(令和5年)の産業保健の動向 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 矢崎 武	6 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
令和5年度自殺対 策研修会 2月15日(木) 18:00~20:00 宮崎県小林保健所 2階多目的室	アルコール依存症当事者及び家族の体験発表 宮崎県断酒友の会 理事 都城支部長 アダチ博都 他	70 (0.5)	◇主催 ※宮崎県小林保健所 ☎0984-23-3118
	アルコール依存症の治療と支援について 大悟病院 大塚 響	70 (1.5)	
南那珂医師会生涯 教育医学会 (Web講習会) 2月16日(金) 19:00~20:00 南那珂医師会館2 階大ホール ※受講は現地また はWeb	不眠症の病態と治療戦略~睡眠薬の適正使用~ 宮崎大学医学部 臨床神経科学講座 精神医学分野 准教授 平野 羊嗣	20 (1.0)	◇主催 ※南那珂医師会 ☎0987-23-3411 ◇共催 エーザイ(株)

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
延岡医学会学術講演会 (Web講習会) 2月16日(金) 19:00~20:15 エンシティホテル延岡 ※受講は現地またはWeb	明日からの臨床に役立つ肝臓病の最新情報 宮崎大学医学部附属病院 肝疾患センター センター長 永田 賢治	73 (1.0)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 ギリアド・サイエンシズ(株) 宮崎大学医学部附属病院肝疾患センター (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
ALL MIYAZAKI 総合診療ウィンターセミナー (Web講習会) 2月17日(土) 14:00~17:00 まちなかキャンパス ※受講は現地またはWeb	症例検討 県立宮崎病院 総合診療科 医長 早川 学 他	19 (3.0)	◇主催 宮崎大学医学部地域医療・総合診療医学講座 ☎0985-85-9809
HIV・エイズ対策講習会 2月17日(土) 14:00~16:20 県立宮崎病院1階講堂	増加する性感染症と「いきなりエイズ」の特徴とその対応 千葉大学医学部附属病院 感染症内科 准教授 谷口 俊文 専門医共通講習－感染対策：1単位	8 (1.0)	◇主催 宮崎県医師会 ◇共催 県立宮崎病院 ※宮崎県福祉保健部感染症対策課 ☎0985-44-2620
	宮崎県のHIV患者の歯科口腔外科治療について 県立宮崎病院 歯科口腔外科 医長 松本 幸三 他	8 (1.0)	

2月17日(土)開催予定の「HIV・エイズ対策講習会」における専門医共通講習単位数が変更になりました。

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
西都市西児湯内科 医学会学術講演会 (Web講習会) 2月20日(火) 19:00~20:00 西都市西児湯医師 会館1階研修室 ※受講は現地また はWeb	糖尿病性腎臓病に対応する薬物療法と当院での取り組み 平和台病院 副院長 天野 一志	73 (1.0)	◇主催 西都市西児湯医師会内科医会 ◇共催 ※西都市西児湯医師会 ☎0983-43-1687 協和キリン(株)
宮崎市郡医師会し ののめ医学会特別 講演会 (Web講習会) 2月28日(水) 19:00~20:00 宮崎市郡医師会館 講堂 ※受講は現地また はWeb	宮崎大学での肝胆膵外科のこれまで 宮崎大学医学部 外科学講座 肝胆膵外科学分野 教授 七島 篤志	53 (1.0)	◇主催 ※宮崎市郡医師会 ☎0985-77-9100
日向市東臼杵郡医 師会学術講演会 (Web講習会) 2月28日(水) 19:00~20:00 ホテルベルフォ ート日向 ※受講は現地また はWeb	CKD患者におけるカリウム管理 福井大学 学術研究院 医学系部門 腎臓病態内科学 教授 岩野 正之	82 (1.0)	◇主催 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222 ◇共催 アストラゼネカ(株)
西都市西児湯医師 会学術講演会 (Web講習会) 2月29日(木) 19:00~20:10 西都市西児湯医師 会館1階研修室 ※受講は現地また はWeb	多職種連携ツールメディカルケアステーション(MCS) を使った在宅診療の実際(仮) 宮崎市郡医師会 副会長 クリニックうしたに 院長 牛谷 義秀 他	80 (1.0)	◇主催 ※西都市西児湯医師会 ☎0983-43-1687 ◇共催 西都市西児湯内科医会 ◇後援 西都市 西都市社会福祉協議会 西都市北地区地域包括支援センター 西都市南地区地域包括支援センター

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
第70回宮崎県スポーツ学会 3月9日(土) 15:00~19:00 JA AZM本館2階 大研修室	トップアスリートにおける運動器の外傷・障害 国立スポーツ科学センター スポーツ医学・研究部 整形外科 副主任研究員 半谷 美夏 日医認定健康スポーツ医学再研修会：1単位	61 (1.0)	◇主催 宮崎県スポーツ学会 ◇共催 宮崎県整形外科医会 ◇後援 宮崎県医師会 (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎0985-85-0986
第182回宮崎心臓病研究会 (Web講習会) 3月13日(水) 18:55~20:30 宮崎観光ホテル ※受講はWebのみ	10年先を見据えた心血管手術 倉敷中央病院 心臓血管外科部長 平尾 慎吾 ----- カテーテル治療時代に改めて弁膜症手術を考える 心臓病センター榊原病院 外科主任部長 平岡 有努	0 (0.5)	◇主催 宮崎心臓病研究会 ◇共催 ゲルベジャパン(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-77-9101
アトピー性皮膚炎WEB講演会 In MIYAZAKI (Web講習会) 3月14日(木) 19:00~19:45 KITENビルコンベンションセンター ※受講はWebのみ	アトピー性皮膚炎治療のA.R.E~Aim Respect Empower~ いのうえ皮ふ科 院長 井上 知宏	26 (0.5)	◇主催 宮崎県小児科医会 ◇共催 サノフィ(株) ☎0120-852-297 リジェネロン・ジャパン(株)

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
<p>令和5年度宮崎県 医師会母体保護法 指定医師研修会 (Web講習会) 3月16日(土) 15:00~18:00 宮崎県医師会館 ※受講はWebのみ</p>	<p>医療安全について 宮崎大学医学部 病理学講座 構造機能病態学分野 助教 阿萬 紫 専門医共通講習－医療安全：1単位</p>	7 (1.0)	<p>◇主催 宮崎県医師会 ◇共催 宮崎県産婦人科医会 (連絡先) 宮崎県医師会産婦人科医会 ☎0985-22-5118</p>
	<p>医療倫理について 宮崎大学医学部 発達泌尿生殖医学講座 産婦人科学分野 講師 土井 宏太郎 専門医共通講習－医療倫理：1単位</p>	3 (1.0)	
	<p>母体保護法に関わる法制について 宮崎県産婦人科医会 常任理事 宮崎県医師会 理事 上山 貴子</p>	6 (1.0)	
<p>第39回宮崎県リウ マチ研究会 第32回宮崎リウマ チのケア研究会 3月16日(土) 15:50~18:00 MRTmicc 3階エ メラルドホール 参加費：1,000円</p>	<p>ライフステージに応じた関節リウマチ患者治療 岡山大学病院 運動器疼痛センター 教授 西田 圭一郎</p>	61 (1.0)	<p>◇主催 宮崎リウマチ研究会/ 宮崎リウマチのケア研究会 ◇共催 ※エーザイ(株) ☎090-7639-6170 あゆみ製薬(株)</p>

診療メモ



梅毒患者数の増加とその対応について

きくち皮膚科泌尿器科クリニック 菊池英維

前回、2017年11月に本誌面（第819号、P60-61「古くて新しい梅毒の話」）にて梅毒の歴史と近年の梅毒感染者届出数の急速な増大について解説させていただきました。今回、重ねて最近の梅毒患者数の増加とその対応について報告させていただきます。

梅毒は1948年には報告数が年間20万例を超えており、死に至る病気として知られていましたが、抗菌薬であるペニシリン治療が有効であり、2010年までは減少傾向で年間約500例前後の報告となっていました。しかし2013年に1,228例となって以来、図1の如く年々増加しており、コロナ禍で一時減少はありましたが、2021年は7,978例と再度増加傾向があり、2022年は13,258例とほぼ倍増に。更に2023年（速報値：2024/1/12現在）には14,906例に達しており、2年連続で1万人例を超えております。コロナ禍が落ち着いてきた反動のせいか更に勢いよく増加している様子です。



図1. 全国での年別梅毒発生数

	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
男性	1284	1930	3189	3931	4591	4387	3902	5261	8701	
女性	377	760	1386	1895	2416	2255	1965	2717	4519	
総数	1661	2690	4575	5826	7007	6642	5867	7978	13220	14906*

※2023年速報値（2024/1/12現在、男女比不明）

直近10年間の宮崎県での梅毒感染者届け出数を示します（図2）。全国と同様に増大傾向であります。当院でも、2017年は6例、2018年、2019年は各々2例、2020年は9例、2021年は14例、2022年は21例、2023年は21例と急速に増加しております。

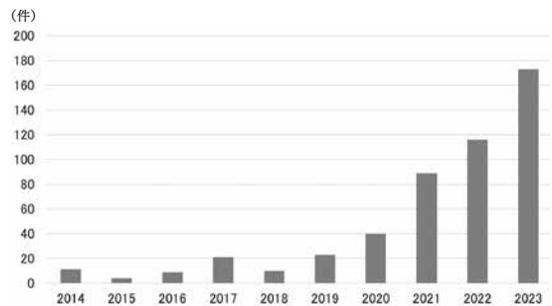


図2. 宮崎県での年別梅毒発生数

	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
本県総数	11	4	9	21	10	23	40	89	116	173

国立感染症研究所からの報告では2023年第二四半期の人口百万人当たりの梅毒発生者数（2023年7月18日掲載）は東京都（63.4）、大阪府（60.8）について宮崎県（48.6）が第3位となっております（図3）。2023年第三四半期（2023年10月18日掲載）には第8位（32.7）に後退したとはいえ危惧すべき状況です。

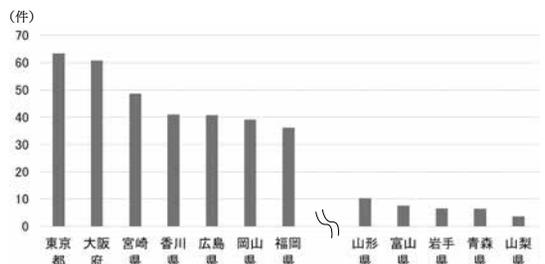


図3. 県別100万人あたりの患者数（2023年第二四半期）

梅毒患者数増加の背景について、当初、個人的には中国人旅行者の風俗爆買いが大きく影響していると考えていましたが、日本だけではなく他の先進諸国も同様に梅毒増加が認められていることや、コロナ禍で中国人訪日客の減少にも関わらず梅毒陽性者の増加が見られることから、今ではSNSやマッチングアプリなどを通じて、不特定多数の人と性的な接触をもつ人が増えたことが増加の原因とも考えられます。また一般財団法人厚生労働統計協会からは、無店舗型性風俗特殊営業店数が罹患率に最も影響しているという報告があります。

梅毒と診断された男性の28%に過去6ヶ月以内の性風俗店の利用歴があり、また梅毒と診断された女性の39.6%に性風俗店の従事歴があったことが分かっており、性風俗店の利用や従事は明確な梅毒のリスクと考えてよさそうです。

男性間の性交渉によって感染拡大した欧米諸国と異なり、本邦では両性における患者の増加を認めており、特に20～30歳代女性における増加が顕著であることが報告されております(図4)。若い女性の梅毒感染は妊娠との結びつきで母子感染により、流産、死産、先天梅毒などを起こす可能性があります。梅毒は、症例数が多いこと、治療に有効な抗菌薬があること、適切な抗菌薬治療により母子感染を防ぎうるなどから、公衆衛生上重点的に対策をすべき疾患として位置付けられております。先天梅毒届出数は2018～2022年には20例前後で推移していましたが、2023年第1～39週ですでに32例となっており、急増しています。日本小児感染症学会では先天梅毒診療の手引き2023(第1版)を作成して公開しております。

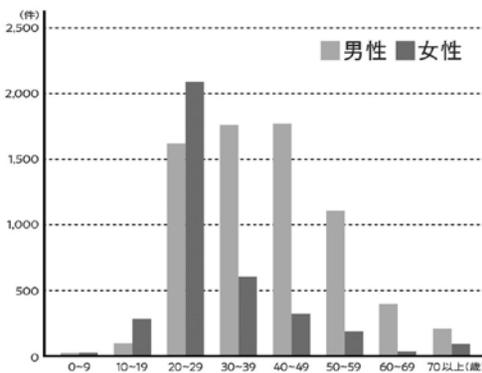


図4. 年別に見た梅毒症例数 (2022年)

宮崎県衛生環境研究所では2022年7月から「宮崎県における梅毒の流行状況の解析」を行って

おり、当院ほか5施設が協力しており、2023年末までに66例の参加がありました。同研究所では協力医療機関にて血清診断にて梅毒陽性となった患者の潰瘍部浸出液、唾液、残余血液からTpN47をコードとする遺伝子およびpolA(菌腫特異領域)をターゲットとしたPCR法を実施しており、浸出液と唾液から検出された梅毒の遺伝子量に大きな差異はなかったことや侵襲性のない唾液検体における遺伝子検査の有用性を示しました。宮崎県における遺伝子型は、14d/fが多く、すべてマクロライド耐性遺伝子を保有していたことを第72回日本感染症学会東日本地方会学術集會にて報告しております。

また本県では昨年末に無料・匿名の梅毒とHIVの検査を行っており、1回目は10/20～10/31に17施設で実施、検査数：87件、梅毒陽性：1件。2回目は12/1～12/20に18施設で実施、検査数：62件、梅毒陽性：3件の結果でした。

梅毒は“The Great Imitator (模倣の名人)”と呼ばれるように、全身に多彩な臨床症状をきたす可能性があり、変幻自在の病態をとる本疾患では、典型例はむしろ少なく、疑わしき症状の際は速やかに検査を行うことが重要です。

2021年9月に、持続性ペニシリン製剤の筋肉注射が承認されました。従来、治療薬として経口薬は主にアモキシシリン経口1回500mg、1日3回、28日が使用されておりましたが、処方された薬を用法・用量を順守して服用する「服薬コンプライアンス」が守られず、治療を完了できない人が結構な確率でいることを実感しております。それに対してベンジルペニシリンベンザチン筋注は徐放性製剤であり、血中半減期も長く、1期、2期梅毒は9割以上の症例が単回筋注で治ると言われています。治療開始後に約4週間ごとに採血検査を行い、RPR陽性梅毒の場合、その値が治療前値より有意に減少していれば(自動化法ではおおむね2分の1に、2倍希釈法では4分の1に)、治癒の判定となります。

日本性感染症学会では、“ストップ!梅毒プロジェクト”を立ち上げ(日本性感染症学会、日本化学療法学会、日本環境感染症学会、日本臨床微生物学会と共同)、国民への啓発をはかっております。また梅毒に対する医療者の診断治療の一助となるべく、最新の考え方に基づいた「梅毒診療ガイド」を厚生労働科学研究三鴨班と共同作成し、2018年6月15日から学会のホームページで公開しております。会員でなくても閲覧可能となっておりますのでご確認ください。

宮大医学部学生のページ

延岡のお医者さんが
かっこいい大人だらけだった話宮崎大学医学部 医学科5年 ^{よし}吉 ^だ田 ^ひ日 ^{より}和

「私、医者に向いてないかも」。

関東の某病院での病院見学を終えて、医師としてどう働きたいか、もっと大きなくくりで人としてどう生きていきたいのか、わからなくなってしまっていた。そんな不安の中で私の地域医療実習は始まった。延岡を選んだ理由はさまざまあるが、何よりも一番は実家から通えるということだ。1か月間帰省も兼ねて実習ができる。

私は小学生のころから国際医療に従事したいという思いを持っており、アフリカ、ガーナ、インドなど各国を旅してさまざまな国の医療現場を見てきた。その中で、国は違えど目の前の患者さんを思って懸命に働く医療従事者と多く関わり、国際医療と地域医療って本質は同じなんじゃないか？と思うようになった。医療過疎地に医療を届ける、私の目指す医師像は疾患を診る医師ではなく、生活背景も含め、オールラウンドにフラットに患者さんと付き合える医師だ。患者さんはもちろん職場の同僚も含めて「あんたがおって助かったー」と言ってもらえるような人材になりたい。

内科にしようか、外科にしようか、それさえも迷って、決めかねていた中で延岡共立病院での実習が始まった。延岡共立病院は代々赤須一族が引き継ぐ老舗の病院だ。病床数は195床、

外科、整形外科、内科、皮膚科、心療内科、小児科がある。現在は肝臓外科の理事長、元心臓血管外科で現在は総合診療科の院長、消化器外科の副院長の3兄弟を筆頭に26名の医師や医療スタッフが働いている。まさに延岡の地域医療を守る要となる病院だ。

初日、到着してすぐに「今週の水曜日の夜は空けとってね？」と理事長先生に言われ、焼き肉に連れて行っていただいた。延岡の医療の現状や、自分たちが果たすべき役割について話す先生方は熱かった。中でも、理事長先生にいただいた言葉が忘れられない。

「負け犬になって帰ってくるな」

この言葉は、延岡で医療をすることの過酷さと強い責任感を表した言葉だ。「延岡で医療をするからこのくらいの知識でいいや、というのではなく、君にしかできない最先端の医療や何かしらの武器を持って帰ってきてほしい」。私はこの言葉を聞いて地域医療をなめていた自分に気づき、恥ずかしくなった。また、頑張る意味を見つけたような気がした。

実習ではもっぱら院長先生の外来についた。1日で40人以上もの患者さんを診る院長先生は私に一生ものの聴診技術、外来での患者さんとの向き合い方を教えてくださった。院長先生は

ドイツのハートセンターで心臓移植の手術を多くこなしていたこともある第一線の心臓血管外科医であったが、現在はオペ着を脱いで総合診療科医として地元の人に寄り添うカリスマ的な医師だ。1か月先生にみっちり聴診技術を叩き込んでいただき、収縮期駆出性雑音と汎収縮期雑音の音の性状の違いを聞き分けられるようになった。ほかにも、患者さんの心配事や性格をこまかに汲み取り、言葉を選び、必要十分な検査、説明をしていく一流の技術を目のあたりにできたことは一生ものの宝になった。まだまだ先生には及ばないが、私もいつか院長先生のような医師になりたいと感じた。

ある日は臍頭十二指腸切除術があると聞いて、オペ室で手洗いをした。術者の先生と副院長先生が手術中にたくさん術野を見せてくださり、たくさん話しかけてくださり、手術を初めて心から楽しいと感じた。副院長先生は若いころにネパールで医師をしたかったそうだ。中村哲先生に憧れて。私も同じだった。そんな副院長先生とお話をするにつれ、私は外科医になりたいという思いがみるみる自分の中で大きくな

っていくのを感じた。また、私の中でくすぶっていた、海外で医師をしたいという思いとの向き合い方、延岡で医師をする意義、冒頭に述べた某病院で感じた違和感、いろいろなもよもよの答えを一緒に探していただいた。

以上、語っても語り切れない私の地域医療実習であった。ここに挙げたのは一部だが、看護師さん、医療事務さんを含めすべての医療スタッフの雰囲気、患者さんの温かみを感じた場面は毎日数えきれないほどあった。文字数が足りないのここに書くことはできないが、またいつかどこかにこの思い出を書くことがあったら、記したい。

最後に、地域医療実習でお世話になったすべての方々、手配をしてくださった地域医療講座の先生方、宮崎の地域医療を守るすべての偉大な先生方に感謝と敬意を表して手記を終わりにしたい。私は卒業後、県外、国外で勉強して延岡に帰ってくるつもりだ。

先生方の背中を追いかけて精一杯頑張ります！
帰ってきたら飲み連れに行ってください！（笑）



初めてのPD（臍頭十二指腸切除術）

お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会地域医療課（TEL 0985-22-5118）にお問い合わせください。

またMMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員の方はぜひご登録をお願いします。

送付日	文 書 名
12月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年末年始（12/28～1/4）における副作用等報告、不具合等報告及び予防接種後副反応疑い報告に係る受付並びに取扱い等について ・ 令和6年度介護報酬改定率について ・ 令和6年度介護報酬改定に向けた社会保障審議会介護給付費分科会における審議報告の送付について ・ 「福祉施設・支援団体の方向けマイナンバーカード取得・管理マニュアル」の改訂について（周知依頼） ・ 暗証番号の設定が不要なマイナンバーカードへの医療機関・薬局での対応について（周知依頼）（その2） ・ 独立行政法人福祉医療機構による医療貸付事業融資制度利用希望者に対する個別融資相談会の開催について ・ 「拉致問題を考える国民の集いin宮崎」の開催について（周知依頼） ・ 令和5年度衛生環境研究所研究発表会の開催について（通知） ・ 令和5年度厚生労働省委託事業「外国人患者受入れ医療コーディネーター養成研修」の実施について（ご案内） ・ 日医総研「欧州医療調査報告会」開催について ・ 令和5年度動物由来感染症対策技術研修会における質問とその回答について ・ 「令和5年版死因究明等推進白書」の公表について（情報提供） ・ 公益通報者保護制度の広報資料の周知について（依頼） ・ 内閣府BRIDGE「AIホスピタルを実装化するための医療AIプラットフォームの構築に必要な技術に関する研究開発」事業「医師の意識調査」について（協力依頼） ・ 使用薬剤の薬価（薬価基準）の一部改正等について ・ 厚生労働省が運営する医療人材の求人情報サイト「医療のお仕事Key-Net」のWebサイト終了のお知らせ ・ 信用保証協会によるセーフティネット保証5号の指定期間延長について（情報提供） ・ 「重篤副作用疾患別対応マニュアル」及び紹介ポスターのホームページ掲載について ・ 「医療関連サービスマーク認定事業者・施設データブック2024年版」の送付について ・ こどもの誤飲事故防止に向けた啓発活動へのご協力をお願い
12月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関等における年末年始の情報セキュリティに関する注意喚起について ・ 新型コロナウイルス感染症の罹患後症状（いわゆる後遺症）に悩む方の治療と仕事の両立に向けた取組の周知について ・ 「アルツハイマー病の新しい治療薬に関する情報の周知について」の送付について ・ 「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」の施行に伴う関係政省令の公布について ・ レカネマブ（遺伝子組換え）製剤に係る最適使用推進ガイドラインの策定に伴う留意事項について ・ 検査料の点数の取扱いについて ・ 一般用医薬品の適正販売及び適正使用について ・ 改正電離放射線障害防止規則への対応及び電離放射線業務従事者に対する健康管理の徹底について ・ 「転倒」や「腰痛」など、職場における労働者の作業行動を起因とする労働災害防止に向けた社会全体の意識改革と行動変容の取組について（協力依頼）～腰痛、転倒など「行動災害」が多発しています～ ・ 厚生労働省補助事業「特定行為研修の組織定着化支援事業推進に係るワークショップ等開催事業シンポジウム」について（周知のお願い） ・ 令和5年度外国人患者受入れ医療コーディネーター養成研修について（依頼）

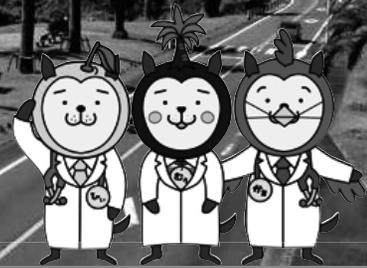
送付日	文 書 名
1月5日	<ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省「マイナ保険証支援助金セミナー&報酬改定のプチお知らせについて」(周知依頼) ・HPVワクチン接種に係る医療機関向け研修会の開催について
1月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年能登半島地震にかかる災害の被災者に係る被保険者証等の提示等について ・令和6年能登半島地震にかかるオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について(その1)～(その2) ・令和6年能登半島地震の被災に伴う保険診療関係等及び診療報酬の取扱いについて ・令和6年能登半島地震による災害に係る介護報酬等の取扱いについて ・令和6年能登半島地震にかかる災害により被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について ・令和6年能登半島地震による避難所等における心身機能の低下の予防及び認知症高齢者等に対する適切な支援について ・令和6年能登半島地震による災害に係る科学的介護情報システム(LIFE)の取扱いについて ・令和6年能登半島地震による災害に係る介護報酬等の請求等の取扱いについて ・令和6年能登半島地震に伴う介護サービス事業所の人員基準等の取扱いについて ・新型コロナウイルス感染症の積極的疫学調査におけるゲノム解析及び変異株PCR検査について ・「令和5年秋以降の新型コロナウイルス感染症の流行状況を踏まえた施設基準等に関する臨時的な取扱いについて」の一部延長について ・医療機能情報提供制度の医療機関等情報支援システム(G-MIS)による報告について ・医療扶助オンライン資格確認の導入経費に係る助成金申請期間の変更のお知らせについて ・マイナポータルを通じた医師資格証発行申請の開始について ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について(その63)」の送付について ・書面及び光ディスク等による請求の継続に係る届出について ・「地域医療介護総合確保基金(医療分)に係る標準事業例の取扱いについて」並びに「医療機関への支援に関する「地域医療介護総合確保基金」の活用について(食材料費関係)」について ・令和5年度地域医療介護総合確保基金(介護分)の内示について(1回目) ・令和6年2月からの介護職員処遇改善支援補助金について ・エムボックスに関する情報提供及び協力依頼について ・「エムボックス 診療の手引き 第1.0版」の周知について ・第22回健康づくりセミナー開催について(ご案内) ・「第13回エコチル調査シンポジウム」のご案内 ・分娩や妊婦健診等の受け入れについて ・旧優生保護法一時金に係る周知広報への協力について(再依頼) ・複数の診療所の管理について ・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について
1月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年能登半島地震にかかる災害の被災者に係る公費負担医療の取扱いについて ・令和6年能登半島地震にかかる災害による被災に関する診療報酬等の請求の取扱いについて ・令和6年能登半島地震による災害の被災者に係る各種母子保健サービスの取扱い等について ・令和6年能登半島地震にかかる福祉避難所等に対する福祉関係職員等の派遣に係る費用の取扱い等の送付について ・令和6年能登半島地震にかかるオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」のアクティブ化の延長等について ・令和6年能登半島地震に係る救急救命士の特定行為の取扱いについて ・災害医療チームの標準的記録「J-SPEED」の更なる活用促進のための周知依頼について ・石川県能登地方を震源とする地震に伴う新型コロナワクチン接種の委託料請求の取扱いについて ・令和6年能登半島地震に伴い避難先市町村の地域密着型(介護予防)サービス等を利用する場合の手続について ・令和6年能登半島地震に伴う要援護者等への適切な支援及びケアマネジメント等の取扱いについて ・令和6年能登半島地震の発生に伴う社会福祉施設等に対する介護職員等の派遣依頼予定のご連絡について ・令和6年能登半島地震の被災に伴う医療法等の取扱いについて

送付日	文 書 名
1月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年能登半島地震による被災地において医療用酸素ガスボンベの代わりに工業用酸素ガスボンベを用いて医療用酸素ガスを供給すること等について（医療機関及び製造販売業者等への周知依頼） ・令和6年能登半島地震の被災に関する労災診療費等の請求の取扱いについて ・令和6年能登半島地震の被災に伴う保険診療関係等及び診療報酬の取扱いについて（その2） ・母体保護法施行規則等の一部を改正する内閣府令の公布について ・母子健康手帳の任意記載事項様式について ・「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」の周知について（協力依頼） ・「ONLINEホテル予約サービス（日本医師会会員特別割引）」新規提携ホテルの優待価格利用開始について ・新設の保険医療機関等がオンライン資格確認を導入するための手続について（協力依頼） ・障害者総合支援法の対象となる疾病の見直しに関する周知について ・日本医師会 第18回男女共同参画フォーラムの開催について ・「病原微生物検出情報」の送付について
1月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年能登半島地震における死体検案書の作成に関する留意事項について ・「「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」等の一部改正について」の訂正について
1月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年能登半島地震による被災者に係る一部負担金等の取扱いについて ・令和6年能登半島地震に伴う災害の被災者に係る保険医療機関等における一部負担金等の取扱いについて（その2） ・令和6年能登半島地震により被災した要援護高齢者等への対応について ・令和6年能登半島地震により被災した高齢の要援護者への対応及びこれに伴う特例措置等について ・令和6年能登半島地震にかかるオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」のアクティブ化の延長等について（その2）（その3）（その4） ・令和6年能登半島地震にかかるオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」のアクティブ化の延長等について（その5） ・令和6年能登半島地震の被災に伴う保険診療関係等及び診療報酬の取扱いについて（その3） ・石川県能登地方を震源とする地震に伴う予防接種の取扱いについて ・令和6年能登半島地震に伴う外国人被災者に係る取組について ・「使用上の注意」の改訂について ・令和6年度診療報酬改定に係る諮問書及び議論の整理の送付並びにパブリックコメント募集へのご投稿について（依頼） ・医療法人の経営情報の報告について ・厚生労働科学研究「医療現場における医療AIの導入状況の把握、及び導入に向けた課題の解決策の検討のための研究」に関連する医療AI製品のアンケートについて（周知協力依頼） ・「電子処方箋管理サービスの運用について」の改正について ・「子ども予防接種週間」の実施に係る厚生労働省通知について ・令和6年度「世界禁煙デー」に関するイベント開催について ・訪問看護療養費及び公費負担医療に関する費用の請求に関する命令及び指定訪問看護の事業の人員及び運営に関する基準等の一部改正に伴う実施上の留意事項等について ・介護事業者のための業務継続計画（BCP）作成セミナー（令和5年度委託事業介護施設等における感染症の感染対策及び業務継続計画（BCP）の開催について（周知依頼）
1月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年能登半島地震への医療支援について（お願い） ・令和6年能登半島地震におけるオンライン診療を実施するための研修受講の取扱いについて ・令和6年能登半島地震における医療機関等からの患者の受入れについて（協力依頼） ・令和6年能登半島地震に伴う災害の被災者に係る保険医療機関等における一部負担金等の取扱いについて（その3） ・令和6年能登半島地震にかかるオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」のアクティブ化の延長等について（その6） ・令和6年能登半島地震に伴う災害の被災者が受けたはり師、きゅう師及びあん摩マッサージ指圧師の施術に係る医師の同意書等の取扱いについて

送付日	文 書 名
1月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年能登半島地震にかかる災害の被災者に係る公費負担医療の取扱いについて(その2) ・宮崎県食材料費高騰対策緊急支援金の支給・申請について(案内) ・令和6年度の「介護職員処遇改善加算・介護職員等特定処遇改善加算・介護職員等ベースアップ等支援加算処遇改善計画書」に係る提出期限について ・医療機能情報提供制度の医療機関等情報支援システムにおける病院等の所在地の入力について ・訪問看護ステーションにおけるオンライン資格確認(居宅同意取得型)導入に関するリーフレットと新規ユーザー登録方法の案内文書の送付について(周知) ・「特定保険医療材料及びその材料価格(材料価格基準)の一部改正に伴う特定保険医療材料料(使用歯科材料料)の算定について」等の一部改正について ・日本医師会雑誌・日医ニュースの遡及送付取りやめについて ・「がん対策推進基本計画のロジックモデルについて」の一部訂正について ・検査料の点数の取扱いについて ・第36回日本医師会主催「指導医のための教育ワークショップ」(2024年3月9日~10日)の開催について(追加募集)
1月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年能登半島地震に伴う診療録等の文書の保存に係る取扱いについて ・令和6年能登半島地震により被災した施設の入所者の受入れに係る利用料等の取扱いについて ・令和6年能登半島地震の発生に伴う社会福祉施設等に対する介護職員等の派遣依頼等について ・「令和六年能登半島地震による災害についての特定非常災害及びこれに対し適用すべき措置の指定に関する政令」の公布・施行に伴う留意点(厚生労働省医政局所管法令関係) ・令和6年能登半島地震による災害により被害を受けた医療関係施設等に対する災害復旧に係る融資について ・令和5年度地域医療介護総合確保基金(介護分)の内示について(2回目) ・「介護現場における生産性向上推進フォーラム」の開催について ・「「オンライン診療の適切な実施に関する指針」に関するQ&A」の改訂について ・特例的に医師が常駐しないオンライン診療のための診療所の開設について ・油症患者受療券の利用可能医療機関の拡大に関する協力依頼について ・乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン及び乾燥弱毒生麻しんワクチンの製造販売業者による自主回収への対応について ・「難病医療費助成制度の対象疾病拡大に係る周知用リーフレット」の送付について
1月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年能登半島地震により被害を受けた医療関係施設等に対する独立行政法人福祉医療機構の災害復旧資金の特例措置について ・令和6年能登半島地震に伴う災害の被災者に係る保険医療機関等における一部負担金等の取扱いについて(その4) ・令和6年能登半島地震における医療用麻薬の移動の取扱いについて ・令和6年度以降のワクチン接種記録システム(VRS)の対応等について ・「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等の一部を改正する法律」の一部の施行等について(通知) ・新型コロナウイルス感染症患者への診療風景などの写真提供の御礼並びに写真を基に制作した動画の活用について ・日本医師会・日本がん登録協議会共催シンポジウム「がん登録の社会への貢献」の開催について ・外部講師を活用したがん教育の推進に向けた取組への協力について ・ダニコパン製剤の使用にあたっての留意事項について ・地域医療連携推進法人制度の見直し ・全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係政令の整備等及び経過措置に関する政令等の公布について ・厚生労働省「外国人患者受入れに資する医療機関認証制度等推進事業」オンラインセミナーのご案内について ・「健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023」について ・児童生徒等のプライバシーや心情に配慮した健康診断実施のための環境整備について(通知)

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください



医師の「働き方改革の準備」は、 整っていますか？

2024年4月から、医師にも時間外労働の上限規制が開始されます。

宮崎県医療勤務環境改善支援センター（勤改センター）の取組み

＼その01／

本県における「医師の働き方改革」は、平成27年3月に県医師会内に設置された宮崎県医療勤務環境改善支援センターが中心となって、関係機関と連携を密に図りながら、推進しています。

＼その02／

アドバイザー派遣をはじめ、各種研修会の開催、勉強会への講師派遣、厚生労働省とのミーティング、周知活動等に取り組んでいます。

＼その03／

HPには、制度概要、アドバイザー派遣、Q&Aなどを載せています。



メールでの質問も受け付けておりますので、どうぞ活用ください。



iryu-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人 宮崎県医師会内



まずは、
お電話
下さい!!

受付時間 月曜～金曜 午前10時から午後4時まで(土・日・祝を除く)

TEL 0985-20-1211 FAX 0985-27-6550

労務管理 関連



医療労務管理アドバイザー

(社会保険労務士19名)を派遣

- ◆宿日直許可申請に関する相談
*申請時、労働基準監督署への同行も行っています。
- ◆36協定届に関する相談
- ◆特例水準指定に関する相談
- ◆労務管理(雇用契約、ハラスメント等)に関する相談など

医業経営 関連



医業経営アドバイザー

(医業経営コンサルタント7名)を派遣

- ◆経営改善、経営の建て直しに関する相談
- ◆特別償却制度に関する相談など

研修会への 講師派遣

テーマに応じた専門のアドバイザーを派遣

- ◆各郡市医師会や医療機関で行う医師の働き方改革に関する研修会(例えば、宿日直許可、労務管理、医業経営など)に、専門の講師を派遣して欲しい。



アドバイザーの
派遣は無料です

このよう
なご相談
に
対応して
います。

国、県、大学、医師会が一体となって、
医師の働き方改革を推進しています。

月1回開催

実務者による
連絡調整会議

- ◆令和4年5月から毎月1回、関係機関の実務者による連絡調整会議を県医師会館で開催しています。コアメンバーは、宮崎労働局(雇用環境・均等室、監督課)、県医療政策課、宮崎大学医学部(総務課)、県医師会(勤改センター)です。
- ◆この会議では、アドバイザーから支援状況の報告を受けたり、生の声を聞くため、医療機関の担当者にもご参加いただき、実情や課題の把握にも努めています。

医師年金

<認可特定保険業者>公益社団法人 日本医師会

ご加入のおすすめ

加入資格 64歳6カ月未満の日本医師会会員 (会員区分は問いません)

☑年金検討チェックリスト

- 公的年金では現役時代の生活水準を維持できない
- コツコツ積立てて十分な年金を確保しておきたい
- 一生涯受け取れる年金が望ましい
- 受け取れる年金の額を効率的に増やしたい
- 医師独自のライフスタイルにあった年金がいい
- 加入前に受取年金額のシミュレーションを確認したい

1つでも該当したら…

医師年金ご加入をおすすめします！

医師年金ホームページで、
簡単シミュレーション！

医師年金 検索

<http://www.med.or.jp/nenkin/>

ご希望の受給額や保険料、生年月日を入力するだけで、簡単に受取年金月額のシミュレーションができます。ぜひお試しください。

個別プランの設計や詳しい資料のご請求はこちら

 公益社団法人
日本医師会 年金福祉課

TEL : 03-3942-6487(直通)

FAX : 03-3942-6503

受付時間：午前9時30分～午後5時(平日)

E-mail : nenkin@po.med.or.jp

保険料からプラン作成

●基本：月払	加算：月払
加算年金 (10万円)	月払保険料 60,000円
基本年金	月払保険料 12,000円
支払期間 19年 2ヶ月 (230期)	
合計月払保険料	72,000円

設定条件をご確認ください。

試算日	令和2年 9月 10日
生年月日	昭和50年 1月 1日
試算日年齢	45歳
加入申込期間	令和2年 10月 15日
加入予定年月	令和2年 11月
加入時年齢	45歳 10ヵ月
加算払込開始年月	令和2年 11月
年金受取開始年月	令和22年 1月
年金受取開始年齢	65歳
払込保険料累計	16,560,000円

注意事項です。お読みください。

- ・加入申込期間は、15日が土日・祝祭日の場合は、その前日となります。
- ・「終身年金」は、加入者ご本人であれば一生涯受け取ることができます。
- ・「保証期間15年」では、受給者ご本人が保証期間中にお亡くなりになった場合、15年の残りの期間について、ご遺族の方が必ず受け取ることができます。
- ・「受取コースの選択(国へ割)」は、受取開始の時に選択する必要があります。
- ・受取開始年齢は、75歳まで延長できます。
- ・「受取年金月額」は概算です。現在は年利率1.5%での計算となっており、将来、年金の制度改定が行われる時は、変更になる場合があります。

●受給年金	
●81コース	保証期間15年 終身
加算年金	64,600円
基本年金	12,900円
15年受取総額	13,950,000円
合計	77,500円
●82コース	
加算年金	5年確定型
276,500円	
基本年金	保証期間15年
12,900円	
15年受取総額	18,912,000円
合計	289,400円
●83コース	
加算年金	10年確定型
143,400円	
基本年金	保証期間15年
12,900円	
15年受取総額	19,530,000円
合計	156,300円
●84コース	
加算年金	15年確定型
99,100円	
基本年金	保証期間15年
12,900円	
15年受取総額	20,160,000円
合計	112,000円

日州医事原稿募集のお知らせ

日州医事では、会員の皆様から随筆、旅行記、ご意見などさまざまな投稿を随時受け付けております。以下の要領に沿ってご投稿ください。

■ 随想・随筆・旅行記

字数：3,000字以内

写真：執筆者顔写真，その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

■ 短歌・俳句・川柳・詩

字数：それぞれの一般的な文字数（500字以内）

写真：執筆者顔写真，その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

■ 宮崎グルメ探訪

題材：お気に入りのお店をご紹介ください。お店の雰囲気やお薦めの料理、思い出話など

字数：800字程度

写真：執筆者顔写真，その他料理などの写真（2枚程）

※掲載は白黒

■ 私の本/私が推薦する本

題材：書物の紹介，読みどころ，執筆の思い出・思い入れなど

字数：800字以内

写真：執筆者顔写真，書物の表紙写真

■ その他

- ・夏の「はまゆう随筆」，新年の「新春随想」はその時期に本誌で原稿募集の案内をいたします。
- ・随筆などに掲載する，カット・イラストも随時募集しています。

～上記のコーナーにご投稿いただくにあたっての留意事項～

■掲載の可否・方法につきましては広報委員会にご一任ください。

■原稿の趣旨を変えない範囲で，日州医事のルールにしたがって表記などの修正をさせていただきます場合があります。

■日州医事は，各都道府県医師会や行政・図書館・報道機関などにも配布しています。

■すべての投稿について

広報委員会で以下のいずれかに該当すると判断した場合には，修正または掲載をご遠慮いただくことがあります。

- ・著作権をはじめ，法令に定める権利やプライバシーを侵害するもの
- ・誹謗中傷や差別など，他の団体，個人または読者に不利益や嫌悪感を与える可能性があるもの
- ・布教や政治活動など，特定の宗教上や政治上の信条に偏ったもの
- ・公序良俗に反し，法律で禁止されている行為など，その他不適切と判断されるもの
- ・事実誤認，難解，過度な宣伝広告など

【原稿送付・問合せ先】 ご投稿は主にメールで受け付けております。

宮崎県医師会広報委員会 日州医事担当（弓削）

Tel 0985-22-5118 Fax 0985-27-6550 E-mail genko@miyazaki.med.or.jp

あとかき



大学に入学してからあつという間に時が流れ、今年はいよいよ6年生になります。これまで、どこか他人事のように思っていた医師国家試験や医師臨床研修マッチングがすぐそこまで迫ってきていることに焦りを感じるとともに、身が引き締まる思いです。学生生活最後の1年となるので、後悔が残らないように1日1日を大切に過ごしたいです。

話は変わりますが、今年の年始は大学の友人と宇都宮と仙台へ旅行に行きました。観光というよりは食事がメインの旅行でした。宇都宮といえば餃子、仙台といえば牛タンやずんだが有名です。下調べの甲斐あって、どちらでも思う存分にご当地グルメを堪能することができました。今はこうしたご当地の美味しいものをネットで注文し、お取り寄せできる便利な時代ですが、ご当地グルメは実際に現地ですべて食べるのが個人的にはいいなと感じました。

今回の旅行で唯一観光した場所は日本三景の一つである松島でした。基礎知識もなかったもので、まずは駅から出てすぐに勧誘された遊覧船に乗り、松島を1周しました。小さい島から大きい島までそれぞれあり、どの島にも松が生えているのが不思議で仕方なかったです。遊覧船での島に関する解説を聞きながら50分かけて1周した後、松島では牡蛎が有名とのことで近くにあった魚市場に行き、焼き牡蛎を食べました。これも本当に美味しかったです。旅行中にたくさん美味しいものを食べて英気を養うことができたので、年明けからある実習も乗り越えられそうです。(山本)

* * * * *

政治資金パーティーのキックバックを通じた裏金疑惑が報じられております。これは政治資金規正法の問題となり、脱税事件ではないとのこと。普通の社会人であれば、収入があれば課税されると思いますが？下々にはインボイスなどと面倒くさい制度を押し付けながら、議員先生方は果てしなく偉いので納税しなくても罪にならないようです。自分たちに有利に法律を作りますからね。天上人か！毎度のことですが秘書に責任を擦り付け。特権を手放したくないようで派閥解消などでお茶を濁す悪代官ぶりです。永久に公民権を停止してほしい。誰も困らないのでは？(菊池)

* * *

第118回医師国家試験が近づき、学内では6年生の先輩方が熱心に勉強されている姿を見るが多くなりました。私自身も4年生ながら、自学や臨床実習の中でのレクチャーの際に問題に触れる機会がありますが、分からない問題が多く2年後には解けるようになっていのだろうかかと不安を感じています。日々の実習の機会ですら得られる経験や知識を大切にしながら、復習と自己学習を重ねて問題に対応できるようにしていきたいと思っております。(境)

* * *

元日の朝ふと思立ち、かねてから娘たちが希望していた大分の遊園地を訪れました。コロナ禍以降長らく足が遠のいていましたが、以前と変わらず盛況で、大きなりボンをつけたキャラクターの周りには多くの人が列をなしていました。正月にも関わらず暖かく、つかの間の休暇を楽しむことができました。その後、これもまた娘たちの希望で博多まで移動し、結局九州を1周することになりました。今年は忙しい一年になりそうです。(長井)

令和6年能登半島地震で被災された方々に心からお見舞い申し上げますとともに、復興に尽力されている皆様には安全にご活躍されることをお祈りいたします。被災地を思うと、一刻も早くよい方向に、と願いますが、過去の震災の対応をそのまま当てはめることもできず難しいのだろうとも感じます。速報での避難の呼びかけ、各自治体や著名人の支援・義援金など早い時期に表明されたものもあり、日頃の防災準備が行動につながったのではないかと思います。(横山)

* * *

1月の能登半島地震により被害に遭われた皆様へ、心からのお見舞いを申し上げますとともに、ご家族や大切な方々を亡くされた皆様へ、謹んでお悔やみを申し上げます。また、羽田空港で発生した衝突事故で犠牲になられた海上保安庁職員の皆様とご家族に対し、深い哀悼の意を表します。県内の各病院から向かわれたJMATやDMAT隊もご活躍されているとお聞きしております。毎日SNSで投稿される自衛隊員の災害救助活動の動画を見てますが、心が震えます。ありがとうございます。(植田)

* * *

2024年度の診療報酬改定は本体がプラス0.88%に決定しました。しかし、2024年度のインフレ率はプラス2%と予測されていますので、実質的にはマイナス改定と解釈できます。そうしたなか、初診料・再診料を引き上げるとの政府の方針が示されました。このままでは医療従事者の賃上げが進まないかと判断したのでしょうか。(佐々木)

今月のトピックス

日州医談 「医師の働き方改革」が始まります

医師の働き方改革について宮崎県医師会理事の池井義彦先生に解説していただきました。管理者である開業医自身にとっては、時間外のご概念などあってなきがごとくですが、従業員に対しては働き方改革をしっかりと意識しなければならない時代です。しかしながら診療報酬は0.88%と微増で、しかも初診料や再診料が上がるわけではなく、逆に管理料や加算の算定要件が見直されるなど、上がる実感はありません。それでいて人件費を3~5%上げるとは、この忙しいときに人数を減らせということでしょうか (T-T)。 6 ページ

新春随想

今年もたくさんの応募をいただきました。1, 2月号に分けて掲載させていただきます。趣味やご自分の昔話など楽しく読ませていただきました。そういえば自分も後4~5年で還暦か~と考えさせられました。 8 ページ

メディアの目 新成人へ熱いメッセージ

成人を迎えてから30年以上が過ぎています。当時の自分と今の自分、特に中身はあまり変わっていないような気がします。体力の低下は否めません。子宮頸がんワクチン、大事です。夢を叶えるためには健康が大事。そのとおりだと思います。 24ページ

診療メモ 梅毒患者数の増加とその対応について

梅毒についてきくち皮膚科泌尿器科クリニックの菊池英維先生に教えていただきました。古くて新しい疾患ですが、最近とみに増えてきており、一般医でも勉強しなおして備えておかなければならない疾患です。勉強になりました。 64ページ

日 州 医 事 第894号 (令和6年2月号) (毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550
<http://www.miyazaki.med.or.jp/> E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 稲倉 琢也

副 委 員 長 菊池 英維

委 員 植田 雄一, 高橋 典子, 石田 康行,

長井 慎成, 早川 学, 横山 晃子

学 生 委 員 鍛治川雄登, 山本 樹, 境 笙太郎, 金城 由歩

担 当 副 会 長 山村 善教

担 当 理 事 荒木 早苗, 高木 純一, 佐々木 究

事 務 局 学術広報課 弓削 圭介, 牧野 諭

印刷所 有限会社 中川印刷 落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円 (但し, 県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)